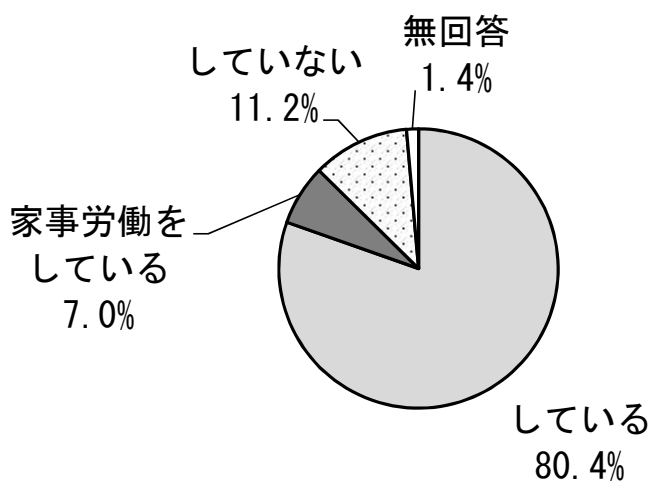


3 就労や社会参画などについて

(1) 現在の就労状況

問 18 あなたは、現在、仕事をしていますか。

回答数 : 729

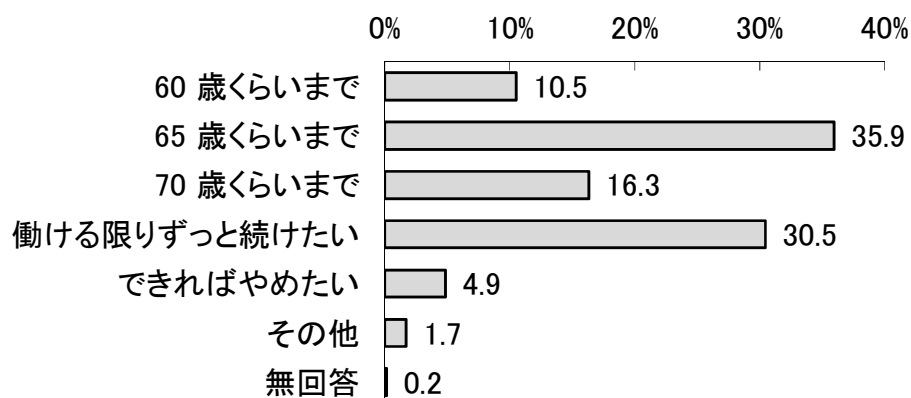


○「している」が80.4%で最も多く、「していない」が11.2%、「家事労働をしている」が7.0%となっている。

(2) 働きたい年齢

問 18-1 (就労をしている、または家事労働をしている方のみ)
あなたは何歳ぐらいまで働きたいと思いますか。

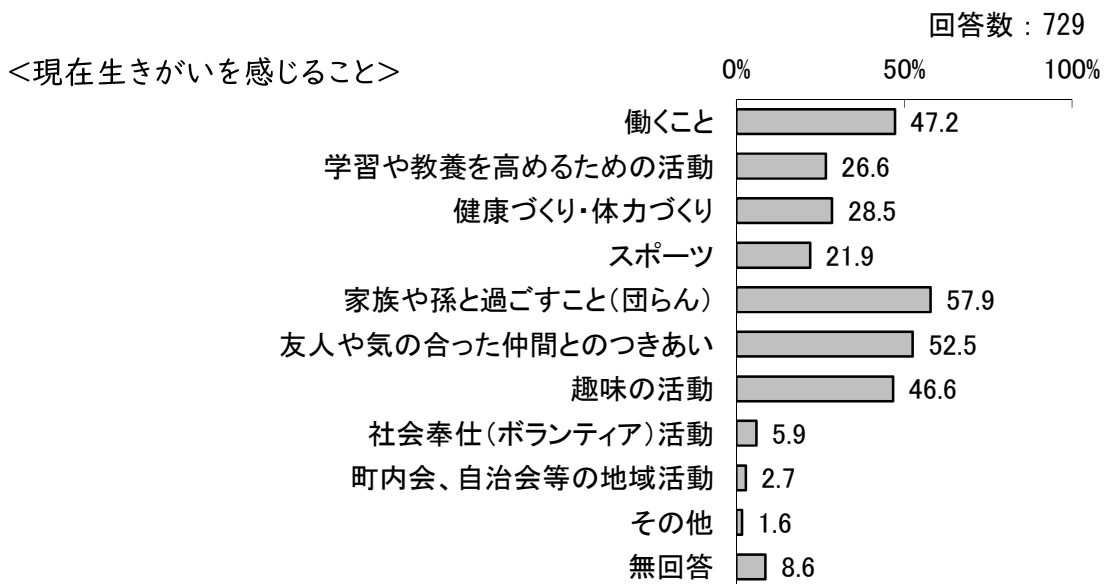
回答数 : 637



○「65 歳くらいまで」が 35.9%で最も多く、次いで「働ける限りずっと続けたい」が 30.5%で多くなっている。

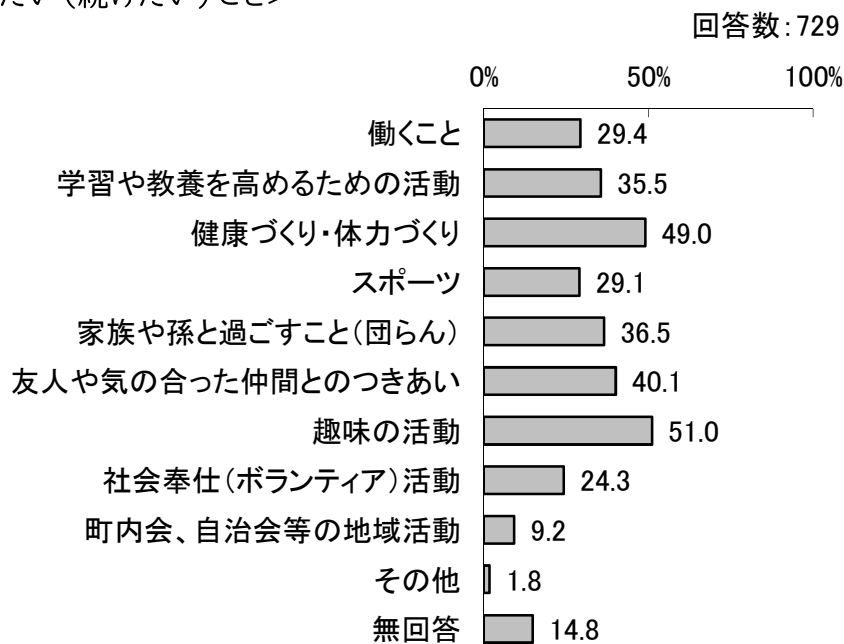
(3) 生きがいを感じることや今後やってみたいこと

問 19 あなたが現在まで行っていることで、生きがいを感じるのはどんなことですか。また、今後やってみたい(続けたい)ことはどんなことですか。(〇はそれぞれいくつでも)



○「家族や孫と過ごすこと(団らん)」が 57.9%で最も多く、次いで「友人や気の合った仲間とのつきあい」が 52.5%で多く、「働くこと」47.2%等が続いている。

<今後やってみたい(続けたい)こと>



○「趣味の活動」51.0%、「健康づくり・体力づくり」49.0%が多く、「友人や気の合った仲間とのつきあい」が 40.1%で続いている。

【年齢別、性別 現在生きがいを感じること】

上段:回答数 下段:割合 (%)	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくり・体力づくり	スポーツ	(団らん) 家族や孫と過ごすこと	友人や気の合った仲間とのつきあい	趣味の活動	社会奉仕 ボランティア活動	町内会 自治会等の地域活動	その他	無回答
全体	729 100.0	344 47.2	194 26.6	208 28.5	160 21.9	422 57.9	383 52.5	340 46.6	43 5.9	20 2.7	12 1.6	63 8.6
男性	305 100.0	148 48.5	81 26.6	99 32.5	94 30.8	155 50.8	131 43.0	159 52.1	17 5.6	9 3.0	4 1.3	31 10.2
女性	416 100.0	194 46.6	110 26.4	108 26.0	65 15.6	264 63.5	251 60.3	180 43.3	26 6.3	11 2.6	8 1.9	29 7.0
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40歳～44歳	122 100.0	63 51.6	43 35.2	36 29.5	29 23.8	79 64.8	64 52.5	62 50.8	6 4.9	4 3.3	2 1.6	8 6.6
45歳～49歳	156 100.0	68 43.6	37 23.7	40 25.6	35 22.4	98 62.8	83 53.2	66 42.3	6 3.8	2 1.3	4 2.6	17 10.9
50歳～54歳	162 100.0	72 44.4	36 22.2	42 25.9	36 22.2	96 59.3	88 54.3	82 50.6	11 6.8	3 1.9	2 1.2	13 8.0
55歳～59歳	129 100.0	69 53.5	31 24.0	43 33.3	29 22.5	74 57.4	66 51.2	62 48.1	7 5.4	7 5.4	1 0.8	9 7.0
60歳～64歳	156 100.0	70 44.9	46 29.5	45 28.8	29 18.6	72 46.2	79 50.6	67 42.9	13 8.3	4 2.6	3 1.9	16 10.3

○年齢別では、40歳～44歳で「家族や孫と過ごすこと(団らん)」が、50歳～54歳で「友人や気の合った仲間とのつきあい」が、55歳～59歳では「働くこと」、「健康づくり・体力づくり」が他の年代に比べて多くなっている。

○性別では、男性で「スポーツ」の回答割合が女性を大きく上回る一方、女性で「友人や気の合った仲間とのつきあい」が男性を大きく上回っている。

【性別・年齢別 今後やってみたい(続けたい)こと】

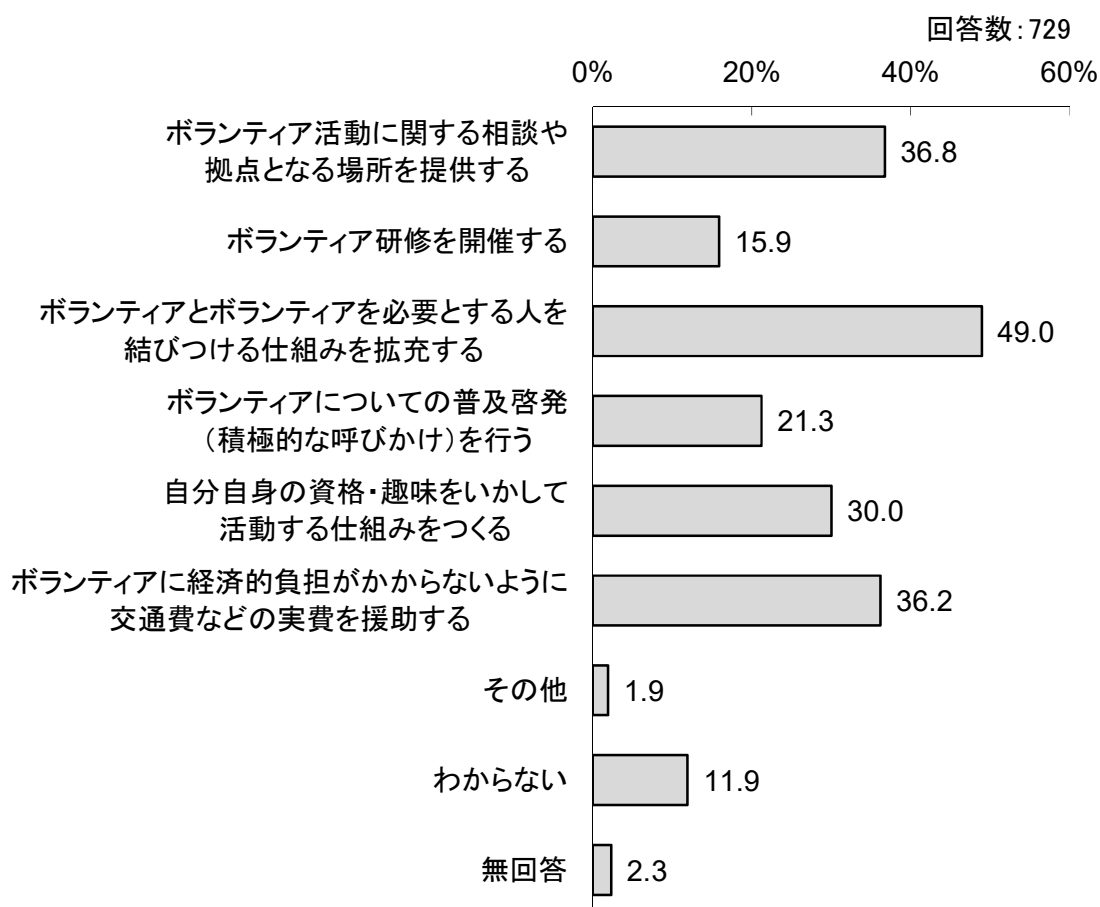
上段:回答数 下段:割合 (%)	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくり 体力づくり	スポーツ	(団らん) 家族や孫と過ごすこと	友人や気の合った仲間とのつきあい	趣味の活動	社会奉仕 ボランティア活動	町内会 自治会等の地域活動	その他	無回答
全体	729 100.0	214 29.4	259 35.5	357 49.0	212 29.1	266 36.5	292 40.1	372 51.0	177 24.3	67 9.2	13 1.8	108 14.8
男性	305 100.0	75 24.6	105 34.4	135 44.3	103 33.8	112 36.7	108 35.4	158 51.8	68 22.3	30 9.8	7 2.3	55 18.0
女性	416 100.0	139 33.4	153 36.8	219 52.6	107 25.7	152 36.5	183 44.0	212 51.0	109 26.2	37 8.9	6 1.4	49 11.8
無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
40歳～44歳	122 100.0	45 36.9	48 39.3	62 50.8	47 38.5	40 32.8	44 36.1	58 47.5	31 25.4	16 13.1	1 0.8	18 14.8
45歳～49歳	156 100.0	46 29.5	57 36.5	74 47.4	46 29.5	71 45.5	66 42.3	78 50.0	34 21.8	12 7.7	2 1.3	27 17.3
50歳～54歳	162 100.0	43 26.5	49 30.2	73 45.1	52 32.1	57 35.2	66 40.7	80 49.4	37 22.8	14 8.6	3 1.9	32 19.8
55歳～59歳	129 100.0	45 34.9	52 40.3	65 50.4	37 28.7	50 38.8	52 40.3	78 60.5	30 23.3	14 10.9	2 1.6	14 10.9
60歳～64歳	156 100.0	34 21.8	51 32.7	80 51.3	28 17.9	46 29.5	62 39.7	76 48.7	44 28.2	10 6.4	5 3.2	17 10.9

○年齢別では、40歳～44歳で「働くこと」が、45歳～49歳で「家族や孫と過ごすこと(団らん)」、「友人や気の合った仲間とのつきあい」が、55歳～59歳で「学習や教養を高めるための活動」「趣味の活動」が、60～64歳で「健康づくり・体力づくり」が他の年代に比べて多くなっている。

○性別による差異はほとんどみられないが、「働くこと」、「健康づくり・体力づくり」、「友人や気の合った仲間とのつきあい」では「女性」が比較的多くなっている。

(4) ボランティア活動を広げていくため必要と思うこと

問 20 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

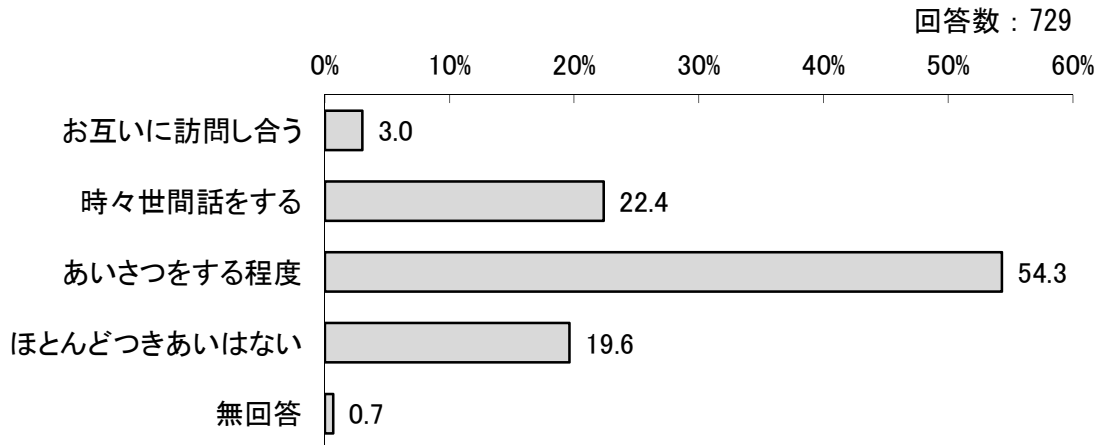


○「ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する」が 49.0%で最も多く、「ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する」36.8%、「ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を援助する」36.2%が続いている。

4 地域における交流について

(1) 隣近所とのつきあい

問 21 あなたは、隣近所とどの程度のつきあいをしていますか。



○「あいさつをする程度」が54.3%で最も多く、次いで「時々世間話をする」が22.4%、「ほとんどつきあいはない」が19.6%などとなっている。

【性別 隣近所とのつきあい】

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	お互いに訪問し合う	時々世間話をする	あいさつをする程度	ほとんどつきあいはない	無回答
全体	729 100.0	22 3.0	163 22.4	396 54.3	143 19.6	5 0.7
男性	305 100.0	5 1.6	36 11.8	187 61.3	76 24.9	1 0.3
女性	416 100.0	17 4.1	126 30.3	206 49.5	65 15.6	2 0.5
その他	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0

○「あいさつをする程度」は「男性」が「女性」より11.8ポイント、「時々世間話をする」は「女性」が「男性」より大きく18.5ポイント、「ほとんどつきあいはない」は「男性」が「女性」より9.3ポイント、それぞれ多くなっている。

【経年比較】

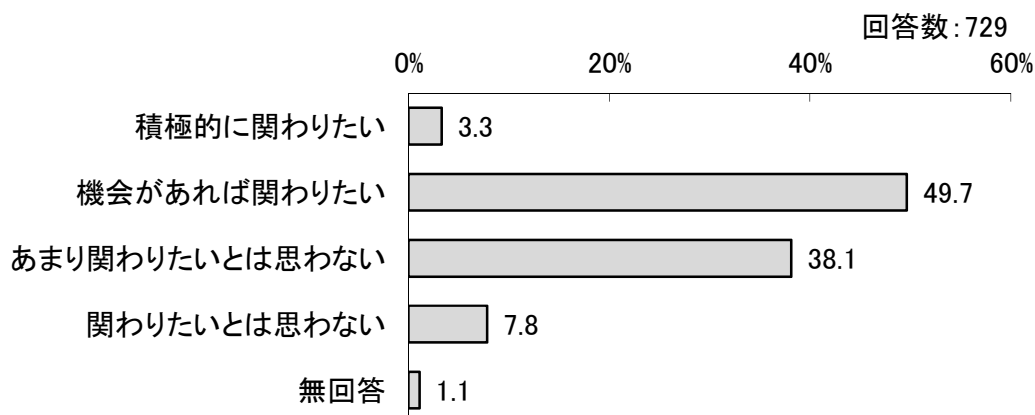
(単位：%)

	合計	お互いに訪問し合う	時々世間話をする	あいさつをする程度	ほとんどつきあいはない	無回答
令和4年度調査 (回答数：729)	100.0	3.0	22.4	54.3	19.6	0.7
令和元年度調査 (回答数：592)	100.0	2.5	23.5	59.8	13.5	0.7

○前回調査と比べて、「あいさつをする程度」が5.5ポイント減少し、「ほとんどつきあいはない」が6.1ポイント増加している。

(2) 隣近所との交流の希望

問 22 あなたは、隣近所の方々との交流をどの程度望まれていますか。



○「機会があれば関わりたい」が49.7%で最も多く、次いで「あまり関わりたいとは思わない」が38.1%、「関わりたいとは思わない」が7.8%などとなっている。

【性別 隣近所との交流の希望】

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	積極的に関わりたい	機会があれば関わりたい	あまり関わりたいとは思わない	関わりたいとは思わない	無回答
全体	729 100.0	24 3.3	362 49.7	278 38.1	57 7.8	8 1.1
男性	305 100.0	3 1.0	125 41.0	140 45.9	34 11.1	3 1.0
女性	416 100.0	21 5.0	233 56.0	136 32.7	23 5.5	3 0.7
その他	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○「機会があれば関わりたい」は「女性」が「男性」を15ポイント上回り、「あまり関わりたいとは思わない」は「男性」が「女性」を13.2ポイント上回っている。

【経年比較】

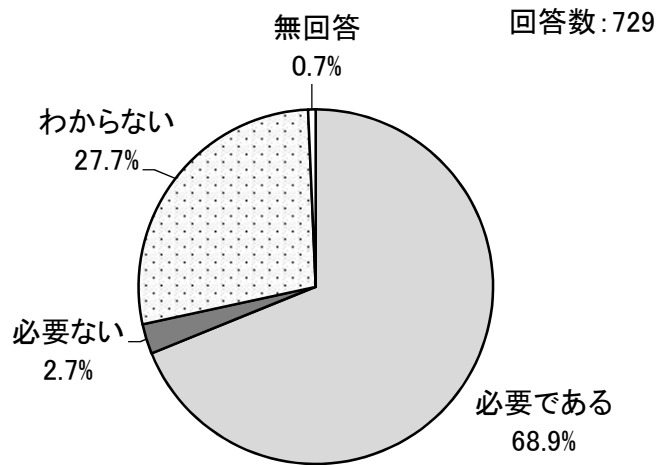
(単位：%)

	合計	積極的に関わりたい	機会があれば関わりたい	あまり関わりたいとは思わない	関わりたいとは思わない	無回答
令和4年度調査 (回答数：729)	100.0	3.3	49.7	38.1	7.8	1.1
令和元年度調査 (回答数：592)	100.0	3.7	57.1	32.9	5.2	0.7

○前回調査と比べて、「機会があれば関わりたい」が7.4ポイント減少し、「あまり関わりたいとは思わない」が5.2ポイント増加している。

(3) 隣近所や地域で高齢者を支えることの必要性

問 23 独居世帯や高齢者世帯が近年増えていますが、隣近所や地域で高齢者を支えることが必要だと思いますか。



○「必要である」が68.9%で最も多く、次いで「わからない」が27.7%、「必要ない」が2.7%などとなっている。

【経年比較】

(単位：%)

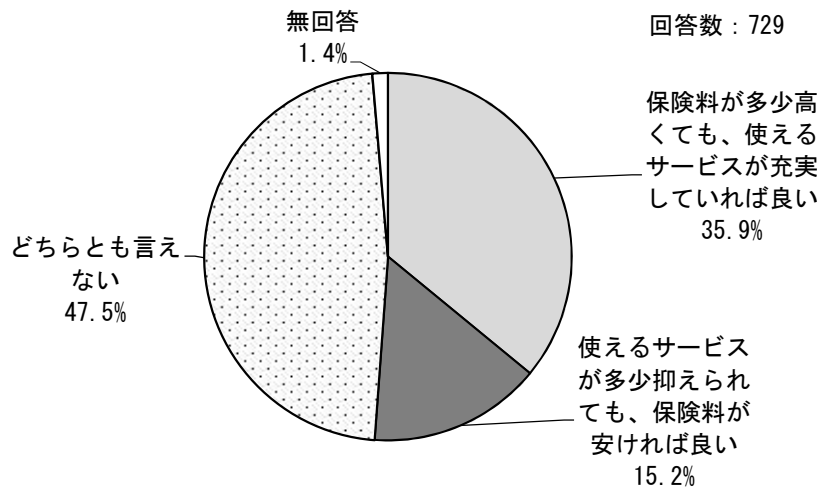
	必要である	必要ない	わからない	無回答
令和4年度調査 (回答数：729)	68.9	2.7	27.7	0.7
令和元年度調査 (回答数：592)	73.8	2.5	23.0	0.7

○前回調査と比べて、「必要である」が4.9ポイント減少し、「わからない」が4.7ポイント増加している。

5 介護保険制度・高齢者施策について

(1) 介護保険料と介護サービスのあり方について

問 24 介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。



○「どちらとも言えない」が 47.5%で最も多く、次いで「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が 35.9%、「使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い」が 15.2%などとなっている。

【経年比較】

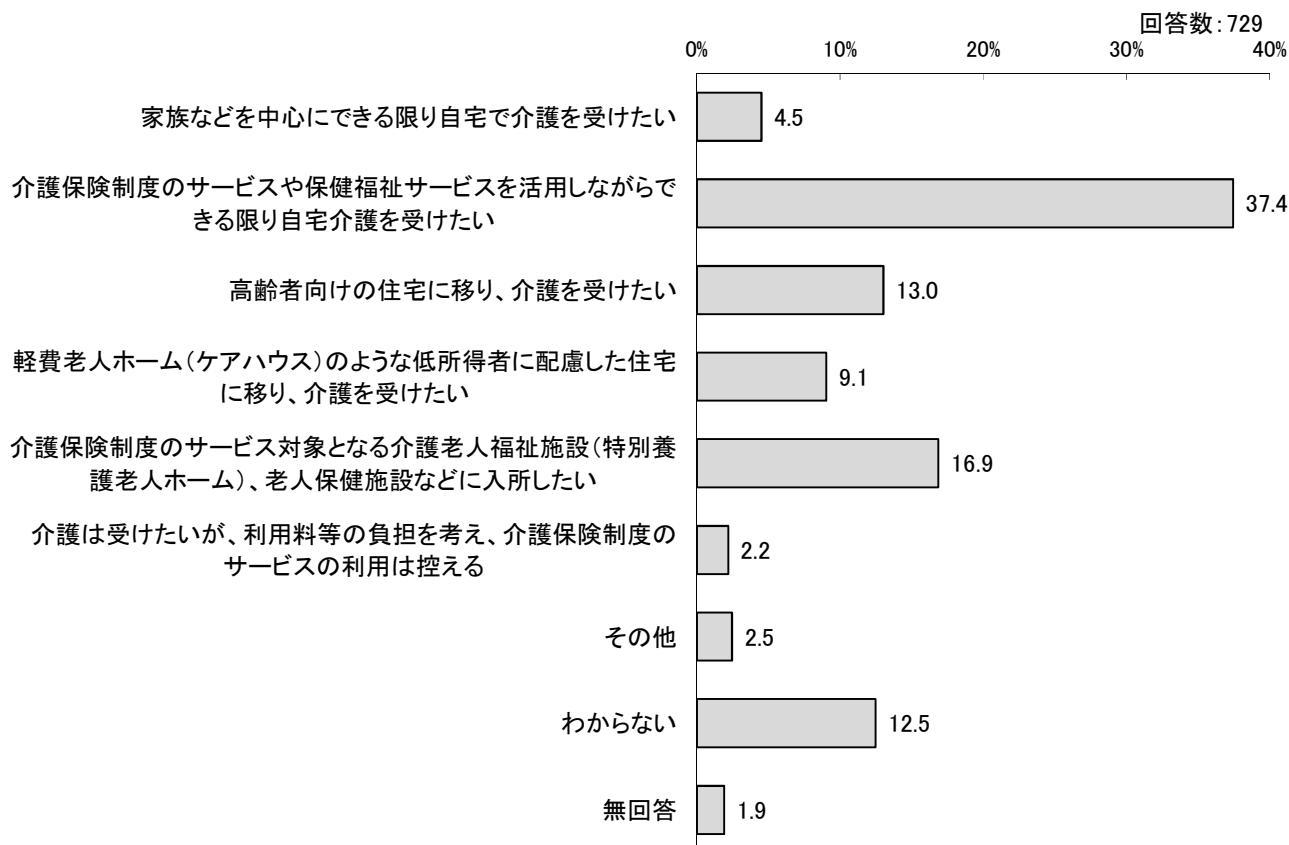
(単位：%)

	保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い	使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い	どちらとも言えない	無回答
令和4年度調査 (回答数:729)	35.9	15.2	47.5	1.4
令和元年度調査 (回答数:592)	37.8	13.0	47.0	2.2

○前回調査と比べて、大きな差異はみられない。

(2) 今後、もし自身が介護が必要になったら

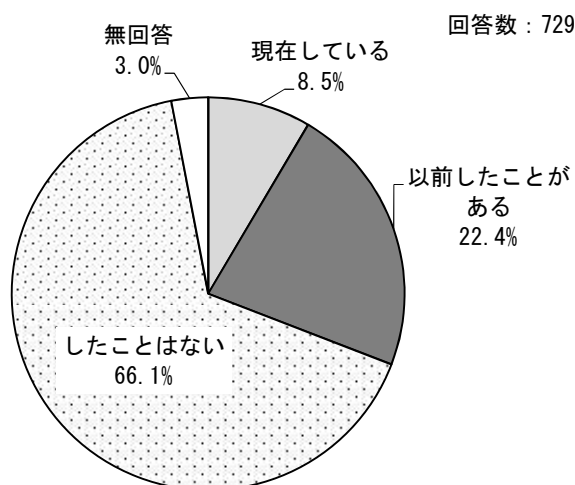
問 25 今後、もしあなたご自身が介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。
(○は1つ)



○「介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながらできる限り自宅で介護を受けたい」が 37.4%で最も多く、次いで「介護保険制度のサービス対象となる介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、老人保健施設などに入所したい」が 16.9%、「高齢者向けの住宅に移り、介護を受けたい」が 13.0%などとなっている。

(3) 家族などの介護の経験の有無

問 26 あなたは、ご家族などの介護をしたことがありますか。



○「したことはない」が66.1%で最も多く、次いで「以前したことがある」が22.4%、「現在している」が8.5%などとなっている。

【性別・年齢別 家族などの介護の経験】

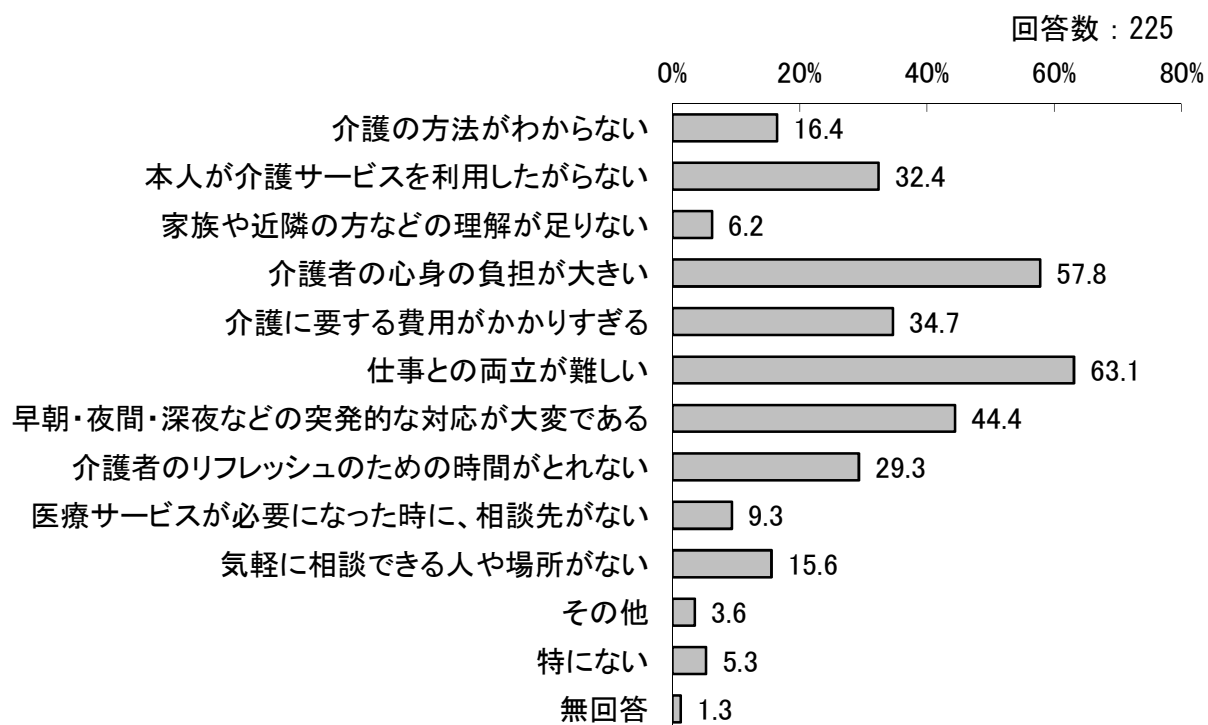
上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	現在している	以前したことがある	したことはない	無回答
全体	729 100.0	62 8.5	163 22.4	482 66.1	22 3.0
男性	305 100.0	22 7.2	49 16.1	225 73.8	9 3.0
女性	416 100.0	40 9.6	112 26.9	253 60.8	11 2.6
40歳～44歳	122 100.0	3 2.5	16 13.1	99 81.1	4 3.3
45歳～49歳	156 100.0	8 5.1	22 14.1	121 77.6	5 3.2
50歳～54歳	162 100.0	19 11.7	26 16.0	111 68.5	6 3.7
55歳～59歳	129 100.0	15 11.6	39 30.2	73 56.6	2 1.6
60歳～64歳	156 100.0	17 10.9	59 37.8	75 48.1	5 3.2

○「現在している」は「女性」が「男性」をやや上回り、「したことはない」は「男性」が「女性」より13ポイント、「以前したことがある」は「女性」が「男性」より10.8ポイント、それぞれ上回っている。年齢別では、「以前したことがある」は年齢の上昇とともに多くなる傾向がみられ、「したことはない」は年齢の上昇とともに減少している。

(4) 介護を行う上で困っていること

問 26-1 (介護について「現在している」、「以前したことがある」方のみ)

介護を行う上で困っていること(困ったこと)について教えてください。(〇はいくつでも)



○「仕事との両立が難しい」が 63.1%で最も多く、次いで「介護者の心身の負担が大きい」が 57.8%、「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」が 44.4%などとなっている。

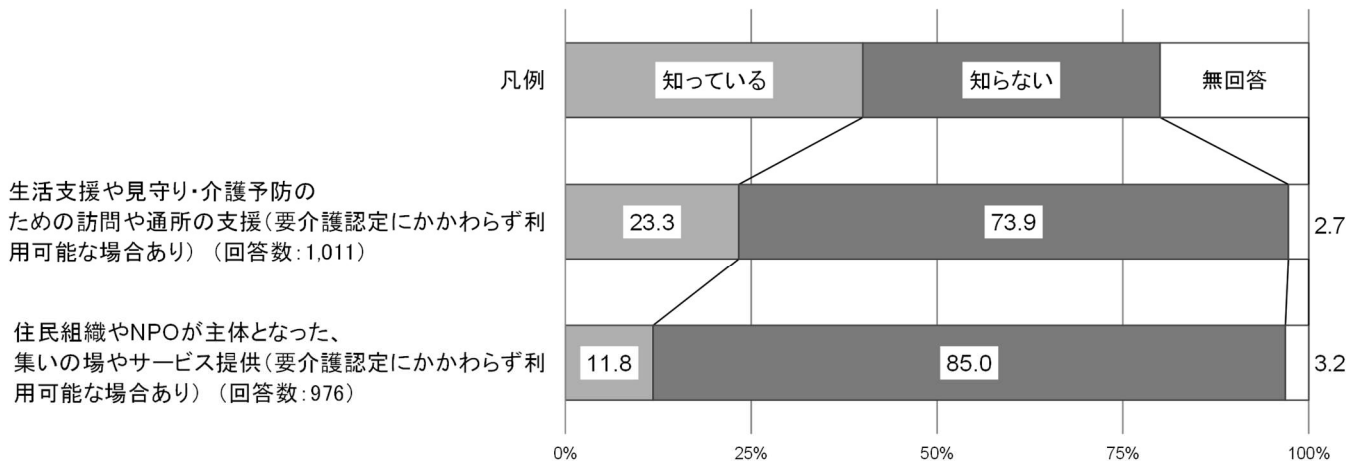
【性別・年齢別 介護を行う上で困っていること】

上段: 回答数 下段: 割合(%)	合計	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを利用したがらない	家族や近隣の方などの理解が足りない	介護者の心身の負担が大きい	介護に要する費用がかかりすぎる	仕事との両立が難しい	早朝 夜間 深夜などの突発的な対応が大変である	介護者のリフレッシュのための時間がとれない	医療サービスが必要になった時に相談先がない	気軽に相談できる人や場所がない	その他	特にない	無回答
全体	225 100.0	37 16.4	73 32.4	14 6.2	130 57.8	78 34.7	142 63.1	100 44.4	66 29.3	21 9.3	35 15.6	8 3.6	12 5.3	3 1.3
男性	71 100.0	17 23.9	19 26.8	2 2.8	39 54.9	21 29.6	45 63.4	32 45.1	18 25.4	4 5.6	11 15.5	1 1.4	3 4.2	2 2.8
女性	152 100.0	20 13.2	53 34.9	12 7.9	90 59.2	57 37.5	96 63.2	67 44.1	47 30.9	16 10.5	24 15.8	7 4.6	9 5.9	1 0.7
40歳 ～44歳	19 100.0	5 26.3	4 21.1	2 10.5	13 68.4	8 42.1	14 73.7	6 31.6	7 36.8	2 10.5	9 47.4	0 0.0	1 5.3	0 0.0
45歳 ～49歳	30 100.0	5 16.7	8 26.7	3 10.0	19 63.3	12 40.0	24 80.0	15 50.0	11 36.7	2 6.7	4 13.3	1 3.3	2 6.7	1 3.3
50歳 ～54歳	45 100.0	9 20.0	17 37.8	4 8.9	24 53.3	13 28.9	30 66.7	22 48.9	12 26.7	5 11.1	9 20.0	3 6.7	0 0.0	0 0.0
55歳 ～59歳	54 100.0	7 13.0	12 22.2	2 3.7	34 63.0	19 35.2	35 64.8	24 44.4	13 24.1	5 9.3	4 7.4	2 3.7	4 7.4	1 1.9
60歳 ～64歳	76 100.0	11 14.5	32 42.1	3 3.9	40 52.6	26 34.2	39 51.3	33 43.4	22 28.9	6 7.9	9 11.8	2 2.6	5 6.6	1 1.3

○「介護の方法がわからない」では「男性」が「女性」を10.7ポイント、「本人が介護サービスを利用したからない」では「女性」が「男性」を8.1ポイント上回っている。年齢別では、「仕事との両立が難しい」「介護に要する費用がかかりすぎる」は若い年代において比較的多く、「本人が介護サービスを利用したからない」は「60歳～64歳」で特に多くなっている。

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業の認知状況

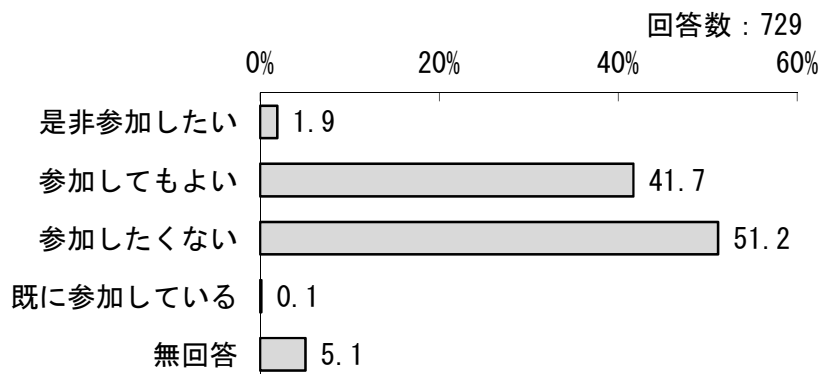
問 27 介護予防・日常生活支援総合事業についてうかがいます。介護予防・日常生活支援総合事業は、65歳以上のすべての方の日常生活の支援を目的とした事業です。本市では、下記の取組を行っておりますが、ご存じですか。(それぞれ○は1つ)



○いずれも「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。「知っている」は「生活支援や見守り・介護予防のための訪問や通所の支援(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)」が23.3%、「住民組織やNPOが主体となった、集いの場やサービス提供(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)」が11.8%となっている。

(6) 地域のボランティア活動に支援者として参加する意思

問 28 支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、あなたはその活動に支援者として参加してみたいと思いますか。

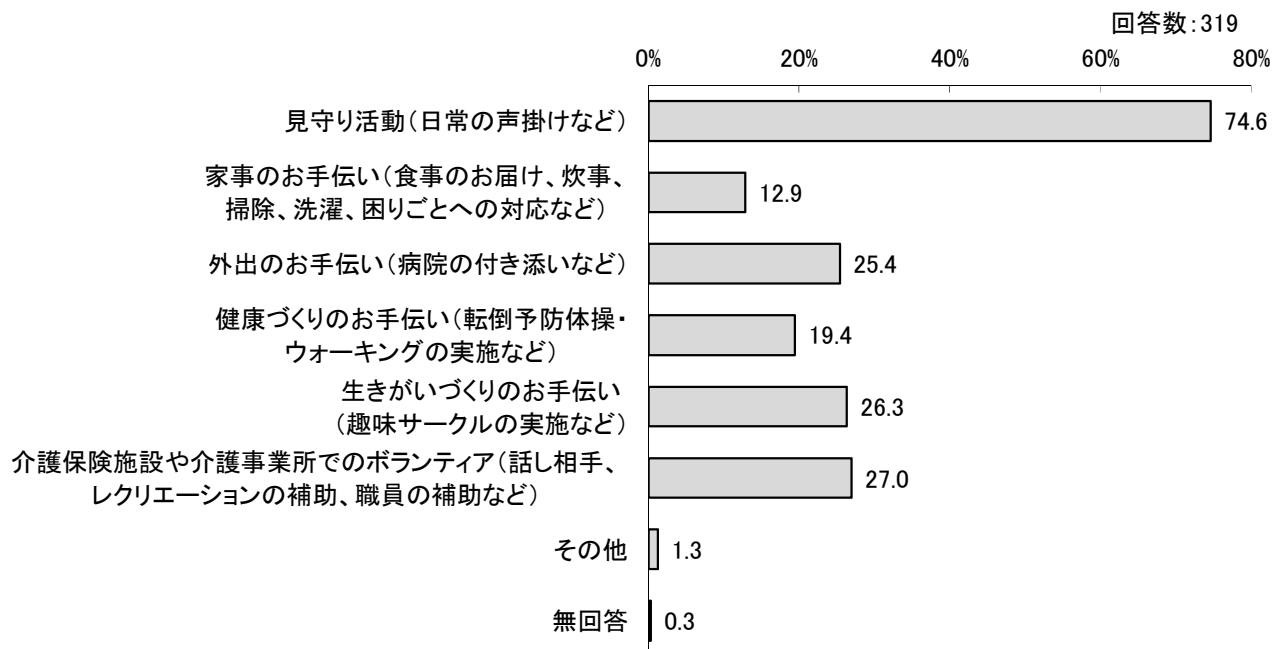


○「参加したくない」が51.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が41.7%などとなっている。

(7) 支援者として参加したい地域のボランティア

問 28-1 (地域のボランティアに「是非参加したい」、「参加してもよい」方のみ)

支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動では、支援者としてどの活動に参加したいですか。また、どの活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

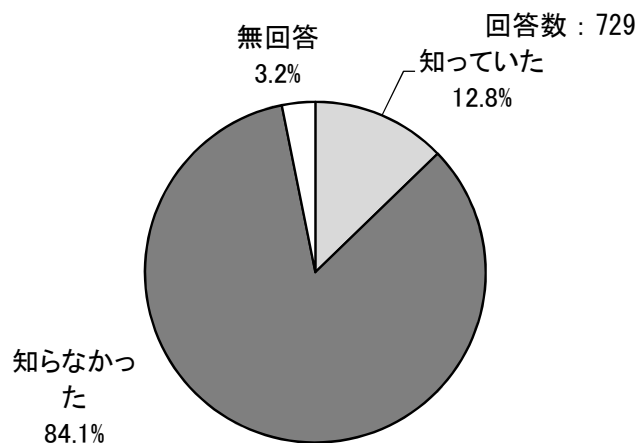


○「見守り活動(日常の声掛けなど)」が74.6%で最も多く、次いで「介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーションの補助、職員の補助など)」が27.0%、「生きがいづくりのお手伝い(趣味サークルの実施など)」が26.3%などとなっている。

(8) 高齢者外出支援事業の認知度

問 29 高齢者外出支援事業についてうかがいます。

市では、高齢者が自宅に引きこもらず気軽に外出し、健康で自分らしい生活を送っていただくこと、また、経済的負担の軽減を目的として在宅で生活する 75 歳以上の非課税世帯に対して、高齢者外出支援事業として、1 枚 500 円のタクシー券を月 3 枚（年間最大 36 枚）、交付していますがご存じでしたか。

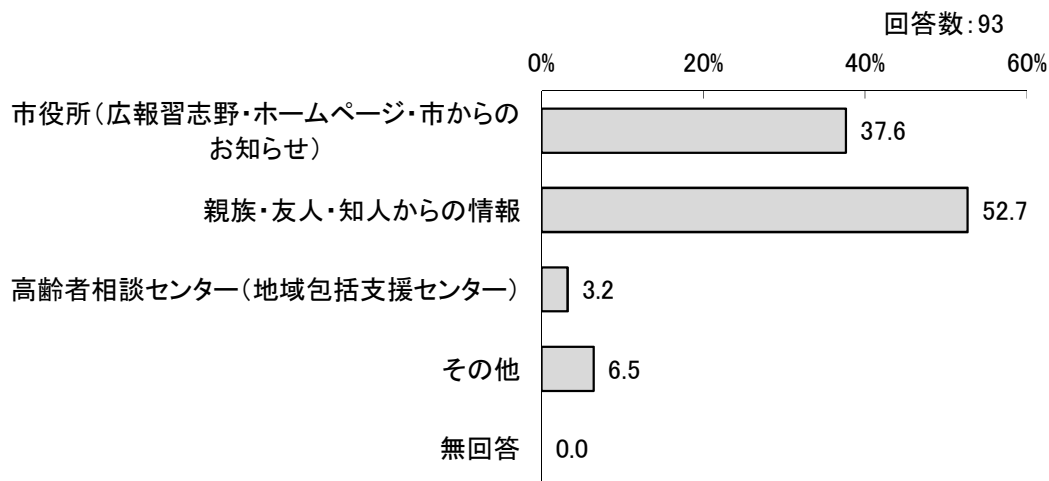


○「知らなかった」が 84.1%、「知っていた」が 12.8%などとなっている。

(9) 高齢者外出支援事業についての情報の入手先

問 29-1 (高齢者外出支援事業について「知っていた」方のみ)

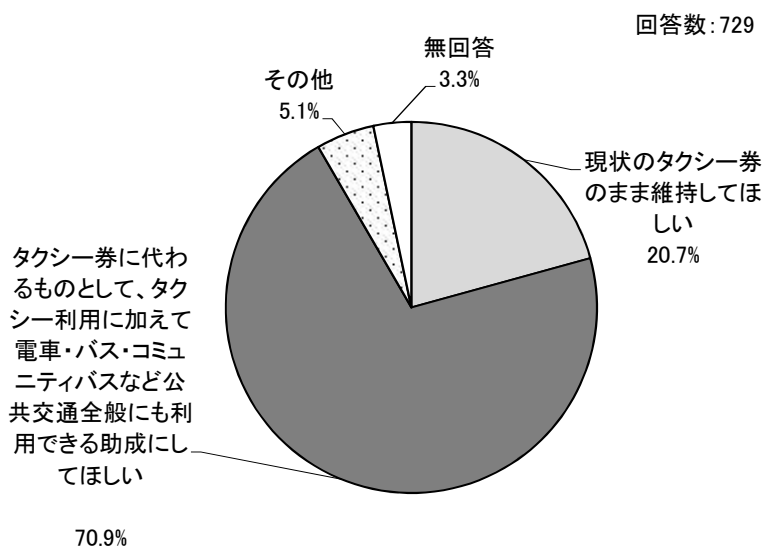
本事業を何で知りましたか。



○「親族・友人・知人からの情報」が 52.7%で最も多く、次いで「市役所(広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ)」が 37.6%、「その他」が 6.5%などとなっている。

(10) 今後の高齢者外出支援事業の見直しについて

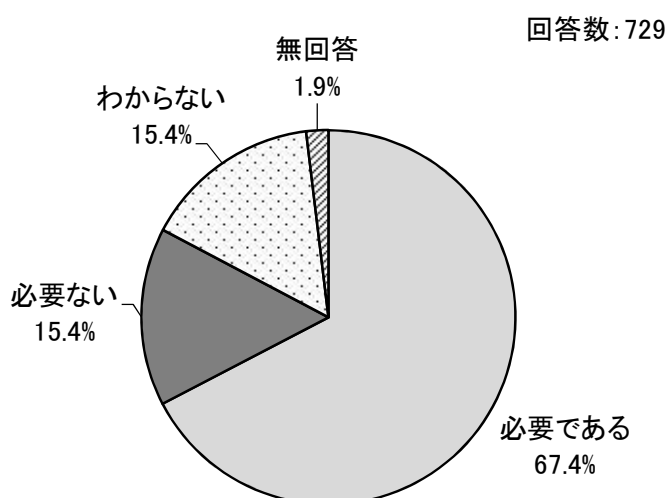
問 30 より良い高齢者の外出支援策とするには、今後どのような事業の見直しを行うのが良いと思いますか。



○「タクシー券に代わるものとして、タクシー利用に加えて電車・バス・コミュニティバスなど公共交通全般にも利用できる助成にしてほしい」が70.9%で最も多く、次いで「現状のタクシー券のまま維持してほしい」が20.7%などとなっている。

(11) 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納について

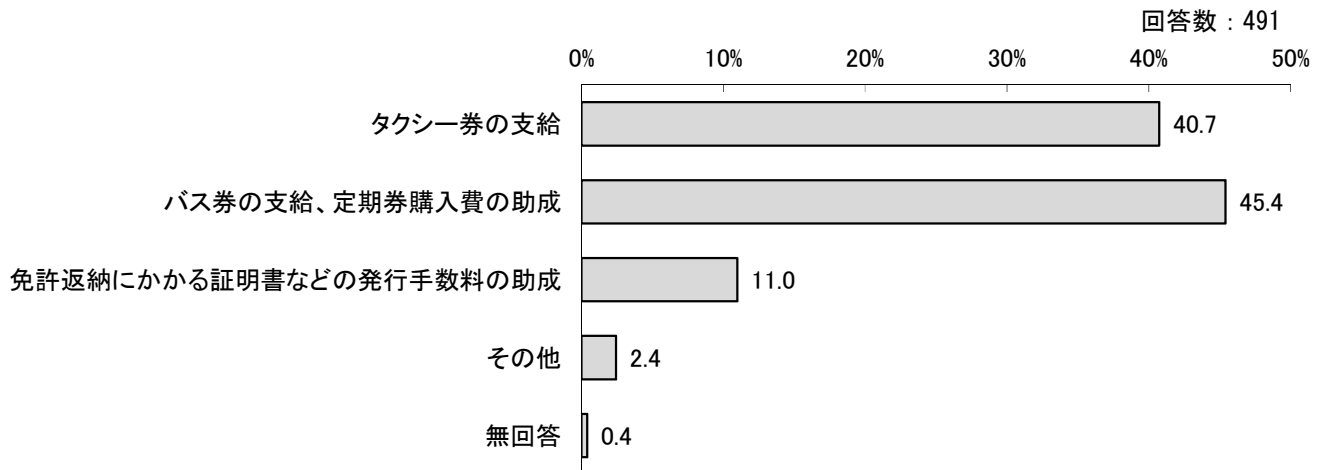
問 31 近年、高齢者ドライバーが当事者となる痛ましい事故が多発し、運転免許証の自主返納に大きな関心が集まっています。本市の公共交通は比較的充実していることから、現時点でタクシー券等の支給は行っていませんが、今後、運転免許証を自主返納した方に対する税金を使った支援は必要であると思いますか。



○「必要である」が67.4%、「必要ない」が15.4%、「わからない」が15.4%などとなっている。

(12) 運転免許証を自主返納した方に必要な支援

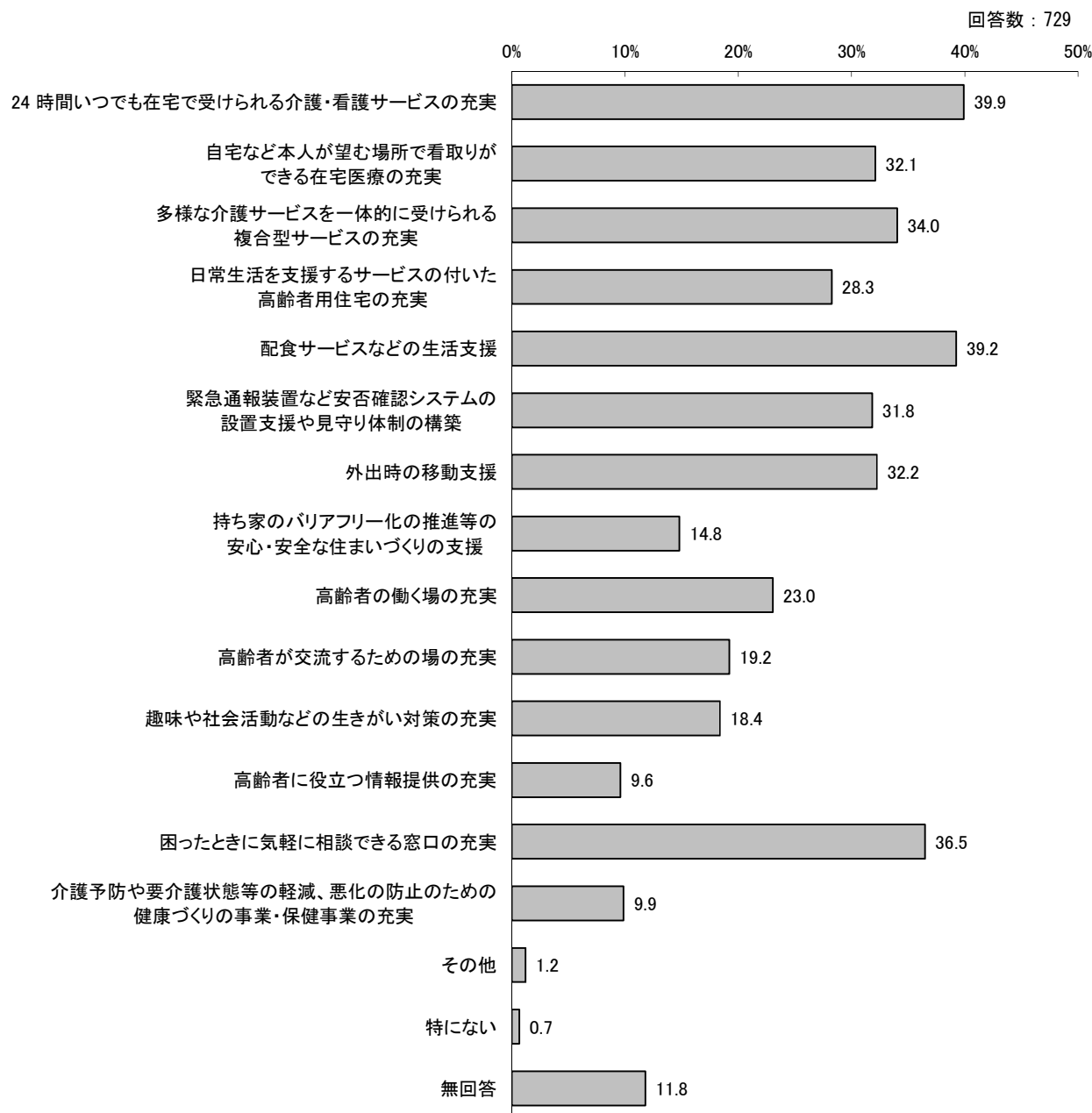
問 31-1 (運転免許証を自主返納した方に対する支援が「必要である」と思う方のみ)
どのような支援が必要であると思いますか。



○「バス券の支給、定期券購入費の助成」が 45.4%で最も多く、次いで「タクシー券の支給」が 40.7%、「免許返納にかかる証明書などの発行手数料の助成」が 11.0%などとなっている。

(13) 高齢者が地域で在宅生活を続けるために必要な施策

問 32 あなたは、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を続けていくために、主としてどのような市の施策が必要であると考えますか。(〇は5つまで)

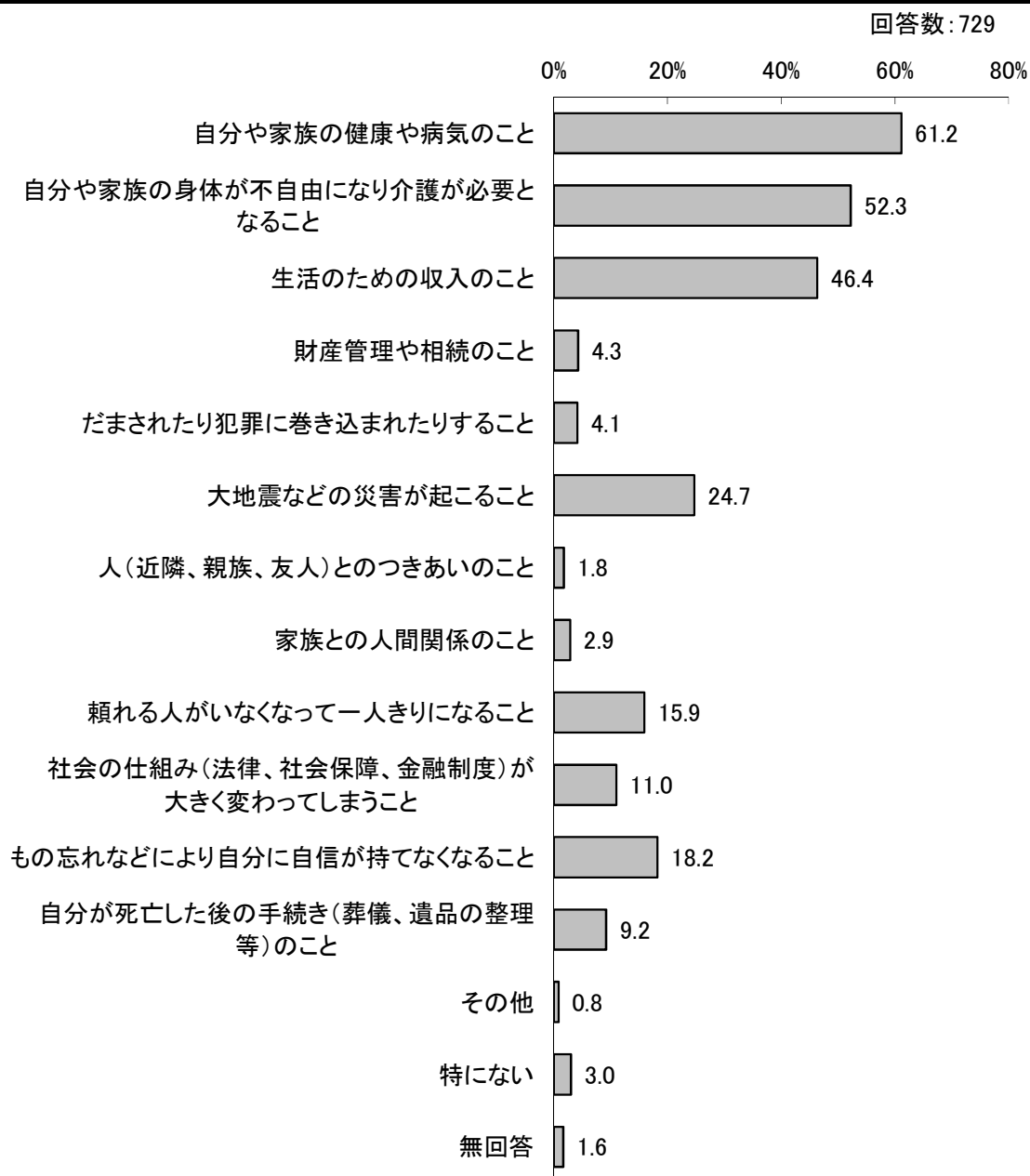


○「24時間いつでも在宅で受けられる介護・看護サービスの充実」が39.9%で最も多く、次いで「配食サービスなどの生活支援」が39.2%、「困ったときに気軽に相談できる窓口の充実」が36.5%、などとなっている。

6 将来の不安、備えについて

(1) 将来の不安

問 33 あなたは、ご自分の将来についてどんな不安がありますか。(〇は3つまで)



○「自分や家族の健康や病気のこと」が61.2%で最も多く、次いで「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること」が52.3%、「生活のための収入のこと」が46.4%、「大地震などの災害が起こること」が24.7%などとなっている。

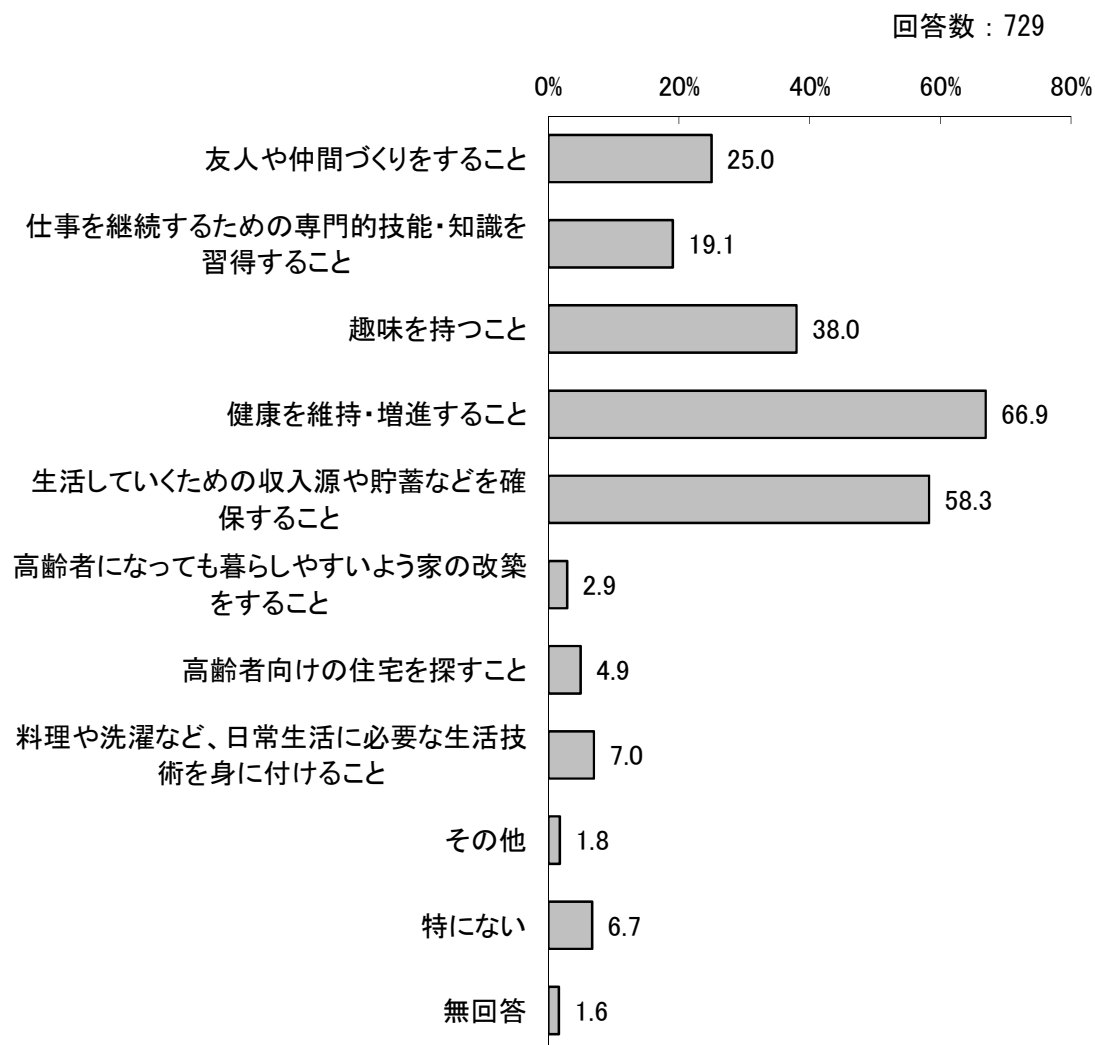
【年齢別 将来の不安】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	自分や家族の健康や病気のこと	自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること	生活のための収入のこと	財産管理や相続のこと	だまされたり犯罪に巻き込まれたりすること	大地震などの災害が起ること	人近隣 親族 友人とのつきあいのこと	家族との人間関係のこと	頼れる人がいなくなて一人きりになること	社会の仕組み 法律 社会保障 金融制度が大きく変わってしまうこと	もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなる こと	自分が死亡した後の手続き 葬儀 遺品の整理 等のこと	その他	特になし	無回答
	全体	729 100.0	446 61.2	381 52.3	338 46.4	31 4.3	30 4.1	180 24.7	13 1.8	21 2.9	116 15.9	80 11.0	133 18.2	67 9.2	6 0.8	22 3.0
40歳 ～44歳	122 100.0	82 67.2	51 41.8	53 43.4	3 2.5	11 9.0	35 28.7	3 2.5	4 3.3	17 13.9	12 9.8	13 10.7	16 13.1	0 0.0	7 5.7	2 1.6
45歳 ～49歳	156 100.0	94 60.3	78 50.0	84 53.8	7 4.5	8 5.1	36 23.1	2 1.3	4 2.6	28 17.9	9 5.8	22 14.1	16 10.3	4 2.6	4 2.6	3 1.9
50歳 ～54歳	162 100.0	104 64.2	93 57.4	78 48.1	5 3.1	7 4.3	43 26.5	3 1.9	3 1.9	30 18.5	19 11.7	31 19.1	10 6.2	0 0.0	3 1.9	1 0.6
55歳 ～59歳	129 100.0	75 58.1	71 55.0	60 46.5	5 3.9	2 1.6	29 22.5	3 2.3	4 3.1	21 16.3	23 17.8	26 20.2	14 10.9	2 1.6	1 0.8	1 0.8
60歳 ～64歳	156 100.0	89 57.1	84 53.8	61 39.1	11 7.1	2 1.3	37 23.7	2 1.3	6 3.8	18 11.5	17 10.9	40 25.6	10 6.4	0 0.0	7 4.5	5 3.2

○「自分や家族の健康や病気のこと」、「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること」、「生活のための収入のこと」はすべての年代にわたり多くなっている。「もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること」は高い年齢層において多く、年代の上昇とともに回答割合も多くなっている。

(2) 将来、老後の生活に備えて現在していることや必要だと思うこと

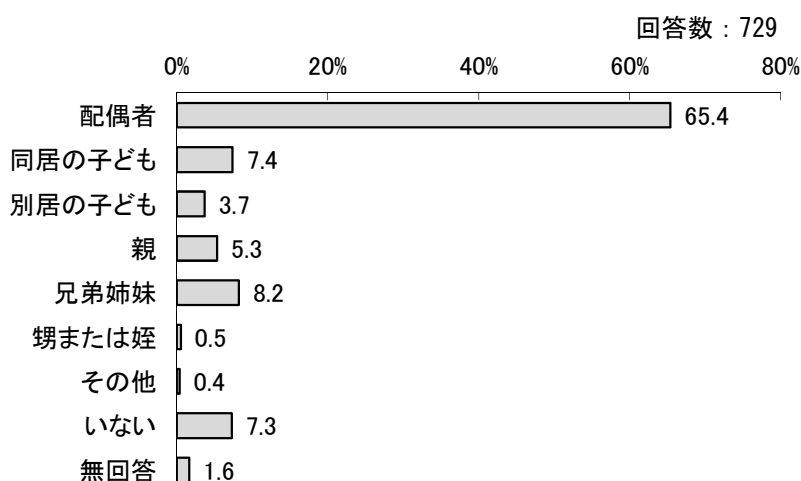
問 34 あなたは、ご自分の将来、特に老後の生活に備えて、現在どのようなことをしていますか、またはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



○「健康を維持・増進すること」が 66.9%で最も多く、次いで「生活していくための収入源や貯蓄などを確保すること」が 58.3%、「趣味を持つこと」が 38.0%などとなっている。

(3) 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内の有無

問 35 あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症などに、必要な手続きや金銭管理をしてくれる身内の方はいますか。いる場合は、主にどなたですか。(○は1つ)



○「配偶者」が65.4%で最も多く、次いで「兄弟姉妹」が8.2%、「同居の子ども」が7.4%、などとなっている。

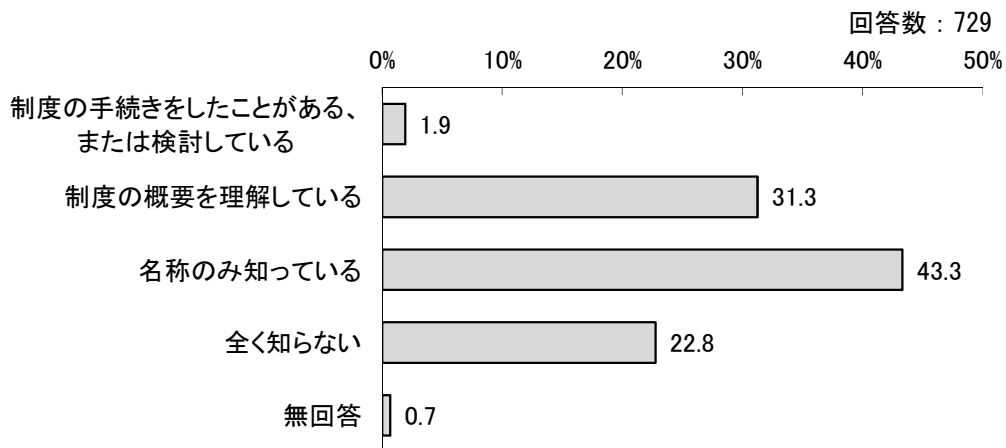
【性別・年齢別 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親	兄弟姉妹	甥または姪	その他	いない	無回答
全体	729 100.0	477 65.4	54 7.4	27 3.7	39 5.3	60 8.2	4 0.5	3 0.4	53 7.3	12 1.6
男性	305 100.0	205 67.2	7 2.3	11 3.6	26 8.5	28 9.2	1 0.3	1 0.3	23 7.5	3 1.0
女性	416 100.0	269 64.7	46 11.1	16 3.8	12 2.9	31 7.5	3 0.7	2 0.5	30 7.2	7 1.7
無回答	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40歳～44歳	122 100.0	74 60.7	6 4.9	0 0.0	18 14.8	13 10.7	0 0.0	1 0.8	8 6.6	2 1.6
45歳～49歳	156 100.0	108 69.2	9 5.8	1 0.6	11 7.1	8 5.1	0 0.0	1 0.6	16 10.3	2 1.3
50歳～54歳	162 100.0	116 71.6	11 6.8	3 1.9	6 3.7	13 8.0	0 0.0	0 0.0	11 6.8	2 1.2
55歳～59歳	129 100.0	86 66.7	9 7.0	8 6.2	2 1.6	14 10.9	1 0.8	1 0.8	7 5.4	1 0.8
60歳～64歳	156 100.0	91 58.3	18 11.5	15 9.6	1 0.6	12 7.7	3 1.9	0 0.0	11 7.1	5 3.2

○「配偶者」は「男性」が「女性」をやや上回り、「同居の子ども」は「女性」が「男性」より8.8ポイント、「親」は「男性」が「女性」より5.6ポイント多くなっている。年齢別では、「配偶者」はすべての年代にわたり多くなっている。また、「同居の子ども」、「別居の子ども」は年齢に比例して多くなっている。

(4) 成年後見制度の認知度

問 36 あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。(○は1つ)
「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。



○「名称のみ知っている」が 43.3%で最も多く、次いで「制度の概要を理解している」が 31.3%、「全く知らない」が 22.8%などとなっている。

(5) 自由意見・要望

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策について、ご意見、ご要望がありましたら自由にご記入ください。

【記述内容(主なもの)】(年齢/性別)

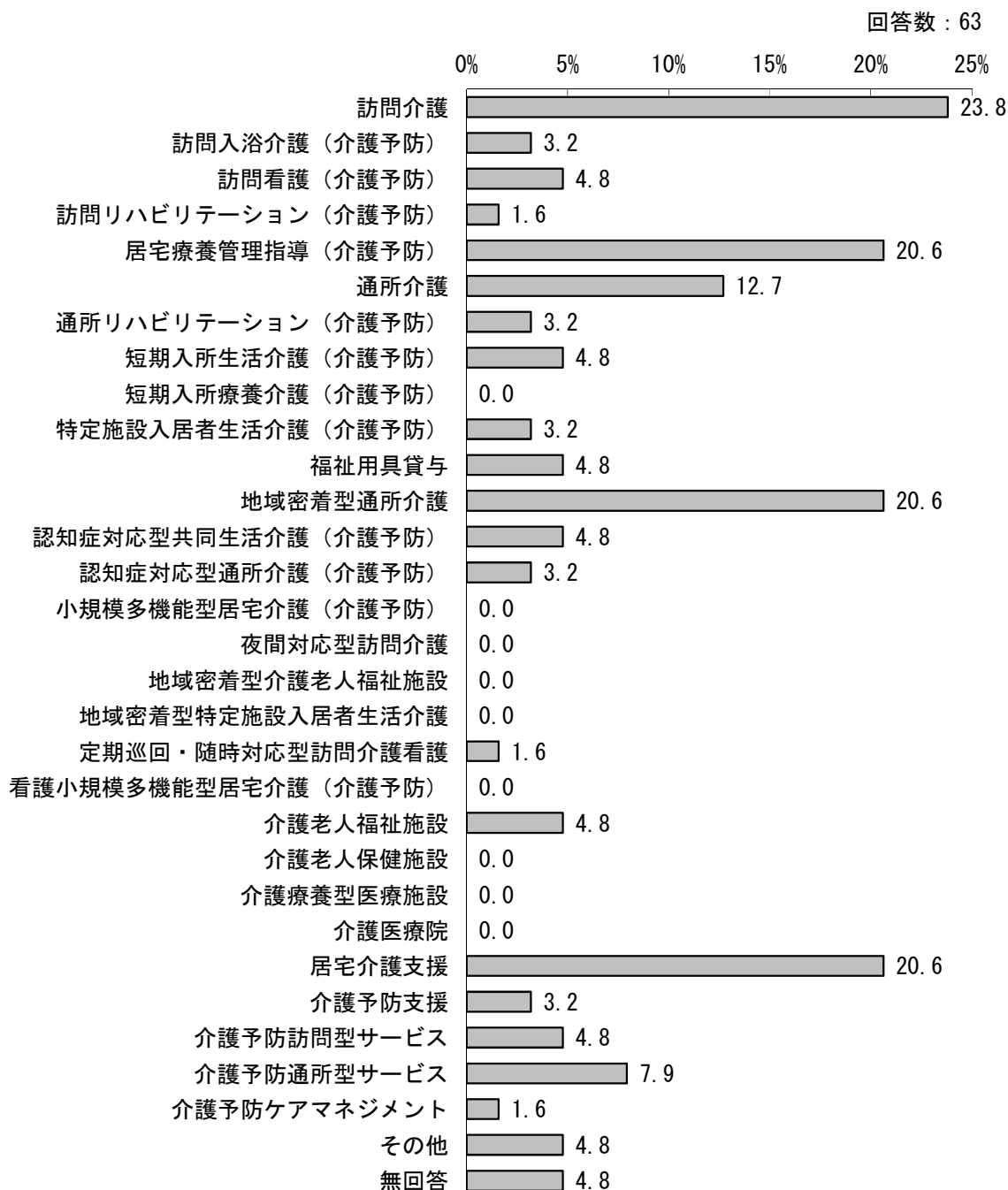
- 高齢者が住みやすい、とは恐らく、コミュニティが最寄にあり、気軽に楽しく出かけられる「場」があることだと思います。日々の楽しみとなることで生きがいになったりできれば、と願います。そのサポートをして頂けたら良いと思います。(60歳~64歳/女性)
- 利用できるサービスなどたくさんあるようですがそれを知らない高齢者は多いと思います。他人などから聞いてはじめて知るのではなく、高齢者支援課などから個別にサービス内容を知らせてもらえるようになるといいと思います。一人暮らしの高齢者でどこに相談していいのかわからなくて困っている方たくさんいると思います。(60歳~64歳/男性)
- このアンケートを通して習志野市の支援サービスを新たに知ることができ、有意義でした。実際にサービスを利用する高齢者の世代に声を聞くことも大切ですが、親世代が高齢者の世代にどんなサービスがよりよいかを今回のようにヒアリングすることで現実的なサービスになると思います。(50歳~54歳/女性)
- 親の介護がはじまって、相談センターの人はとても親切に相談にのってくれた。が、正直制度はよくわからない。助けてもらいたくて初めて介護制度の複雑さや条件、ハードルの高さを感じた。老人も1個人で同じ環境はないのだからプロの意見や提案を受ける場が少ない。ケアマネにも差がある。個人個人で希望可能な介護内容や金額がわかるもの、又はおおよその事を教えてくれる窓口がほしい。(60歳~64歳/女性)
- 高齢者の仲間作りや、交流できる場所をたくさん作ってほしいです。介護保険施設を増やしてほしいです。(60歳~64歳/女性)
- 今後、認知症などの高齢者が増えていきます。その際習志野市役所にはお世話になることが多いと思います。そうならないように私も気をつけますが、市役所の皆様も身体に気をつけて、よい町づくりが出来るようにお願いします。(55歳~59歳/女性)
- 今回のアンケートで、実施されている施策についてあまり知らないことが分かりました。勉強不足もあると思いますが、応報活動に力を入れていただけるとよいと思います。(50歳~54歳/女性)
- 今回アンケートに答えてみて、自分自身が高齢者になるにあたっての心の準備ができていないと思いました。幸いにも、まだ働き盛りの状態なのですが、市の高齢者保健福祉施策についての概要がわかればよいと思いました。(55歳~59歳/男性)
- 高齢者のそれぞれの個人的に使える制度、サービスを市の方から提供していただくと有り難いと思います。なかなか自分で調べたりするのもむずかしくなると思うので、今の状態で利用できるサービスなどをわかりやすく教えてほしいと思います。(55歳~59歳/女性)
- 専門的な知識や技術をもった高齢者が無理なく能力を発揮できるような仕事の機会があれば、と思います。また、軽度の認知症の方々がサポートを受けながら働いたり、気軽に集まって話をしたり遊んだりできるコミュニティが増えると、心の健康の改善につながるのではないかと考えています。「シルバー人材は草取り」のように、高齢者の扱いを一律にするのではなく、個人個人に応じた生きがい対策が充実すると、高齢者以外の人にとっても学んだり生きがいを感じたりすることが増えるように思います。(40歳~44歳/女性)

第4章 サービス提供事業者調査

1 事業者の概要について

(1) 実施しているサービス

問1 貴事業者が現在、本市で実施しているサービスは何ですか。(〇はいくつでも)



○「訪問介護」(63 事業所中 15 事業所・23.8%)という回答が最も多く、次いで「通所介護」、「地域密着型通所介護」、「居宅介護支援」(13 事業所・20.6%)が多くなっている。

2 介護保険サービスについて

(1) 提供しているサービス

問2 次の①から⑳までのうち、貴事業者で提供しているサービスについて、

(1) 利用者からの利用申込みへの対応

(単位:%)

上段: 回答数 下段: 割合(%)	余裕はない	余裕はややある	余裕は十分ある	無回答
①訪問介護 (総数15)	3 20.0	10 66.7	1 6.7	1 6.7
②訪問入浴介護(介護予防) (総数2)	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
③訪問看護(介護予防) (総数3)	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
④訪問リハビリテーション(介護予防) (総数1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
⑤居宅療養管理指導(介護予防) (総数13)	4 30.8	7 53.8	2 15.4	0 0.0
⑥通所介護 (総数8)	1 12.5	5 62.5	2 25.0	0 0.0
⑦通所リハビリテーション(介護予防) (総数2)	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
⑧短期入所生活介護(介護予防) (総数3)	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
⑨短期入所療養介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑩特定施設入居者生活介護(介護予防) (総数2)	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
⑪福祉用具貸与 (総数3)	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
⑫地域密着型通所介護 (総数13)	2 15.4	8 61.5	2 15.4	1 7.7
⑬認知症対応型共同生活介護(介護予防) (総数3)	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
⑭認知症対応型通所介護(介護予防) (総数2)	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
⑮小規模多機能型居宅介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑯夜間対応型訪問介護 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑰地域密着型介護老人福祉施設 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑱地域密着型特定施設入居者生活介護 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑲定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (総数1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
⑳看護小規模多機能型居宅介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉑介護老人福祉施設 (総数3)	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉒介護老人保健施設 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉓介護療養型医療施設 (総数)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉔介護医療院 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉕居宅介護支援 (総数13)	5 38.5	7 53.8	0 0.0	1 7.7
㉖介護予防支援 (総数2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
㉗介護予防訪問型サービス (総数3)	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3
㉘介護予防通所型サービス (総数5)	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0
㉙介護予防ケアマネジメント (総数1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
㉚その他 (総数3)	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7

○「余裕はない」とするサービスは、「介護老人福祉施設(総数3)」が100.0%、「余裕はややある」は「訪問看護(介護予防)(総数3)」「訪問リハビリテーション(介護予防)(総数1)」「特定施設入居者生活介護(介護予防)(総数2)」「認知症対応型通所介護(介護予防)(総数2)」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護(総数1)」「介護予防ケアマネジメント(総数1)」がいずれも100.0%、「余裕は十分ある」は「訪問入浴介護(介護予防)(総数2)」が100.0%などとなっている。

(2) 事業者の収支状況

(単位:%)

上段: 回答数 下段: 割合(%)	赤字である	収支はほぼ均衡	黒字である	無回答
①訪問介護 (総数15)	5 33.3	8 53.3	1 6.7	1 6.7
②訪問入浴介護(介護予防) (総数2)	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
③訪問看護(介護予防) (総数3)	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0
④訪問リハビリテーション(介護予防) (総数1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
⑤居宅療養管理指導(介護予防) (総数13)	4 30.8	4 30.8	5 38.5	0 0.0
⑥通所介護 (総数8)	1 12.5	6 75.0	1 12.5	0 0.0
⑦通所リハビリテーション(介護予防) (総数2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
⑧短期入所生活介護(介護予防) (総数3)	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
⑨短期入所療養介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑩特定施設入居者生活介護(介護予防) (総数2)	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
⑪福祉用具貸与 (総数3)	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
⑫地域密着型通所介護 (総数13)	5 38.5	4 30.8	4 30.8	0 0.0
⑬認知症対応型共同生活介護(介護予防) (総数3)	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
⑭認知症対応型通所介護(介護予防) (総数2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
⑮小規模多機能型居宅介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑯夜間対応型訪問介護 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑰地域密着型介護老人福祉施設 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑱地域密着型特定施設入居者生活介護 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑲定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (総数1)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑳看護小規模多機能型居宅介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉑介護老人福祉施設 (総数3)	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
㉒介護老人保健施設 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉓介護療養型医療施設 (総数)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉔介護医療院 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉕居宅介護支援 (総数13)	3 23.1	7 53.8	2 15.4	1 7.7
㉖介護予防支援 (総数2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
㉗介護予防訪問型サービス (総数3)	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3
㉘介護予防通所型サービス (総数5)	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0
㉙介護予防ケアマネジメント (総数1)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉚その他 (総数3)	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7

○「赤字である」とするサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (総数1)」「介護予防ケアマネジメント (総数1)」がいずれも 100.0%、「収支はほぼ均衡」は「訪問リハビリテーション(介護予防) (総数1)」が 100.0%、「黒字である」は「特定施設入居者生活介護(介護予防) (総数2)」が 100.0%などとなっている。

(3) 今後の事業展開

(単位:%)

上段:回答数 下段:割合(%)	現時点では わからない	縮小を 考えている	現状のまま	拡大を 考えている	無回答
①訪問介護(総数15)	5 33.3	1 6.7	1 6.7	7 46.7	1 6.7
②訪問入浴介護(介護予防)(総数2)	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
③訪問看護(介護予防)(総数3)	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
④訪問リハビリテーション(介護予防)(総数1)	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
⑤居宅療養管理指導(介護予防)(総数13)	3 23.1	1 7.7	5 38.5	4 30.8	0 0.0
⑥通所介護(総数8)	1 12.5	0 0.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0
⑦通所リハビリテーション(介護予防)(総数2)	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
⑧短期入所生活介護(介護予防)(総数3)	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7
⑨短期入所療養介護(介護予防)(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑩特定施設入居者生活介護(介護予防)(総数2)	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
⑪福祉用具貸与(総数3)	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0
⑫地域密着型通所介護(総数13)	4 30.8	1 7.7	7 53.8	1 7.7	0 0.0
⑬認知症対応型共同生活介護(介護予防)(総数3)	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
⑭認知症対応型通所介護(介護予防)(総数2)	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
⑮小規模多機能型居宅介護(介護予防)(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑯夜間対応型訪問介護(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑰地域密着型介護老人福祉施設(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑱地域密着型特定施設入居者生活介護(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑲定期巡回・随時対応型訪問介護看護(総数1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
⑳看護小規模多機能型居宅介護(介護予防)(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉑介護老人福祉施設(総数3)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7
㉒介護老人保健施設(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉓介護療養型医療施設(総数)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉔介護医療院(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉕居宅介護支援(総数13)	1 7.7	1 7.7	3 23.1	5 38.5	3 23.1
㉖介護予防支援(総数2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉗介護予防訪問型サービス(総数3)	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
㉘介護予防通所型サービス(総数5)	2 40.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0
㉙介護予防ケアマネジメント(総数1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉚その他(総数3)	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7

○「縮小を考えている」とするサービスは「介護予防ケアマネジメント(総数1)」が100.0%、「現状のまま」は「通所リハビリテーション(介護予防)(総数2)」「短期入所生活介護(介護予防)(総数2)」「短期入所療養介護(介護予防)(総数1)」「認知症対応型共同生活介護(介護予防)(総数3)」がそれぞれ100.0%、「拡大を考えている」は「訪問看護(介護予防)(総数3)」「福祉用具貸与(総数3)」がそれぞれ66.7%(3事業所中2事業所)などとなっている。

(2) 新たに実施したいサービス

問3 貴事業者が今後、新たに実施したいサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

	回答数	%
訪問介護	4	6.3
訪問入浴介護(介護予防)	0	0.0
訪問看護(介護予防)	3	4.8
訪問リハビリテーション(介護予防)	0	0.0
居宅療養管理指導(介護予防)	0	0.0
通所介護	4	6.3
通所リハビリテーション(介護予防)	1	1.6
短期入所生活介護(介護予防)	0	0.0
短期入所療養介護(介護予防)	0	0.0
特定施設入居者生活介護(介護予防)	1	1.6
福祉用具貸与	0	0.0
地域密着型通所介護	2	3.2
認知症対応型共同生活介護(介護予防)	2	3.2
認知症対応型通所介護(介護予防)	0	0.0
小規模多機能型居宅介護(介護予防)	2	3.2
夜間対応型訪問介護	0	0.0
地域密着型介護老人福祉施設	0	0.0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0.0
看護小規模多機能型居宅介護(介護予防)	1	1.6
介護老人福祉施設	1	0.5
介護老人保健施設	0	0.0
介護療養型医療施設	0	0.0
介護医療院	0	0.0
居宅介護支援	4	6.3
介護予防支援	0	0.0
介護予防訪問型サービス	0	0.0
介護予防通所型サービス	2	3.2
介護予防ケアマネジメント	0	0.0
移動支援に関するサービス	3	4.8
その他	9	14.3
無回答	39	61.9
全体(回答事業者数:63)	78	100.0

○「その他」(9事業所)という回答が最も多く、次いで「訪問介護」と「通所介護」と「居宅介護支援」(いずれも4事業所)が多くなっている。

(4) 実施したい理由

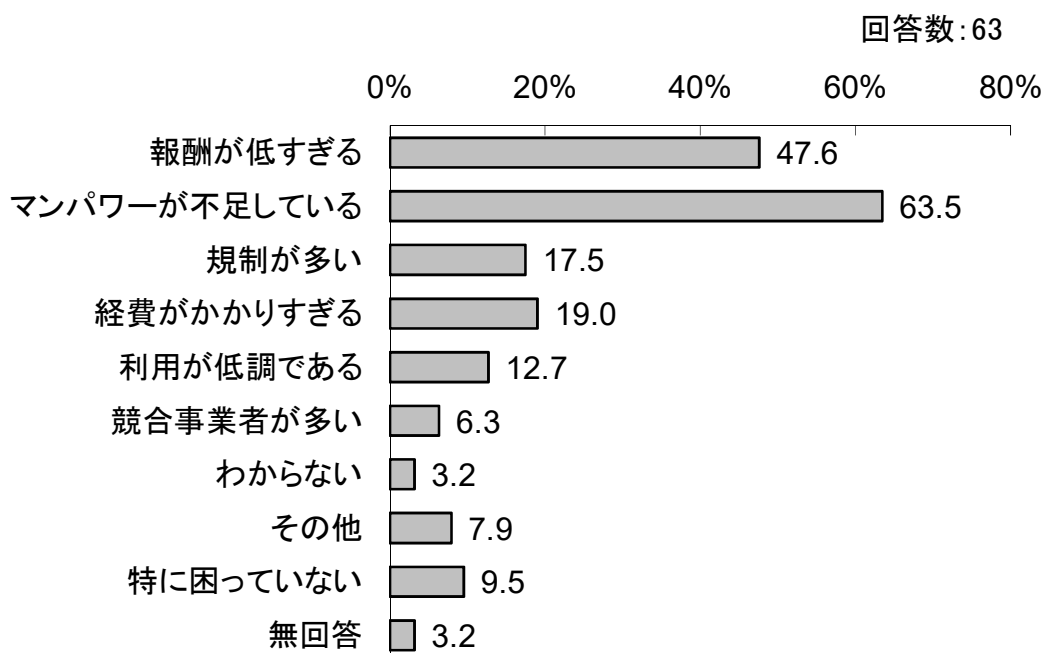
問3-1 (新たに実施したいサービスがある事業者のみ)

上記を選択した理由をお教えてください。

新たに実施したいサービス	その理由
通所リハビリテーション (介護予防)	収支の安定がはかれれば、同様の形態で八千代市佐倉市も視野に入れ考えていきたいです。又、従業員確保も懸念されます。
通所介護	法人として千葉県内に事業所を拡大していきたい為。
通所介護	現在、フランチャイズ加入で事業を行い、半日型デイサービスを営業していますが、市内にもう一つ一日型のデイサービス(リハビリ)を創りたいと考えている。今現在、土地の購入、賃貸物件を探している。
通所介護	通所の利用者が上限に達している為、別のサービスを考えた時に一番導入しやすいと考えた為
訪問看護(介護予防)	訪問看護を行っている中で上記の事業のニーズが多く自社にて連携がとれると業務事態の効率が上がる為。
訪問看護(介護予防)	同じ業界にて参入がしやすい為、訪問看護と併用しやすいサービス
訪問看護(介護予防)	地域の中核となる訪問看護ステーションを目指しており、機能強化型訪問看護ステーションとして機能していきたい。
訪問入浴介護(介護予防)	顧客のニーズにより応えていくため。職員の活躍の場を拡大させるため。
介護予防通所型サービス	軽度者の受け入れ強化を図るため
介護予防通所型サービス	介護予防通所型サービスで地域の高齢者の身体機能維持、向上の手伝いをして介護の軽減のお手伝いをしたいと考えています。近隣地域の方々が買い物に行くことが困難だと伺っているのでその方が気持ちよく買い物、理髪等へ行けるように支援できればと考えます。
訪問介護	介護保険だけでは収支改善は出来ない為、自費対応サービスを考えている。
訪問介護	次期介護保険改正にて話が出ております、デイと訪問介護を組み合わせた新サービスに興味がございます。
地域密着型通所介護	今まで培ったノウハウを活かし、更に良いサービスを提供できる為。
地域密着型通所介護	経営改善の為
地域密着型通所介護	地域密着型サービスとして医療、住まいなど、在宅での生活を継続する上での必要な基盤を作っていきたい。
通所リハビリテーション (介護予防)	地域のニーズがあると思うので

(5) サービス提供上の困りごと

問4 貴事業者がサービスを提供するうえで困っていることはありますか。(〇はいくつでも)



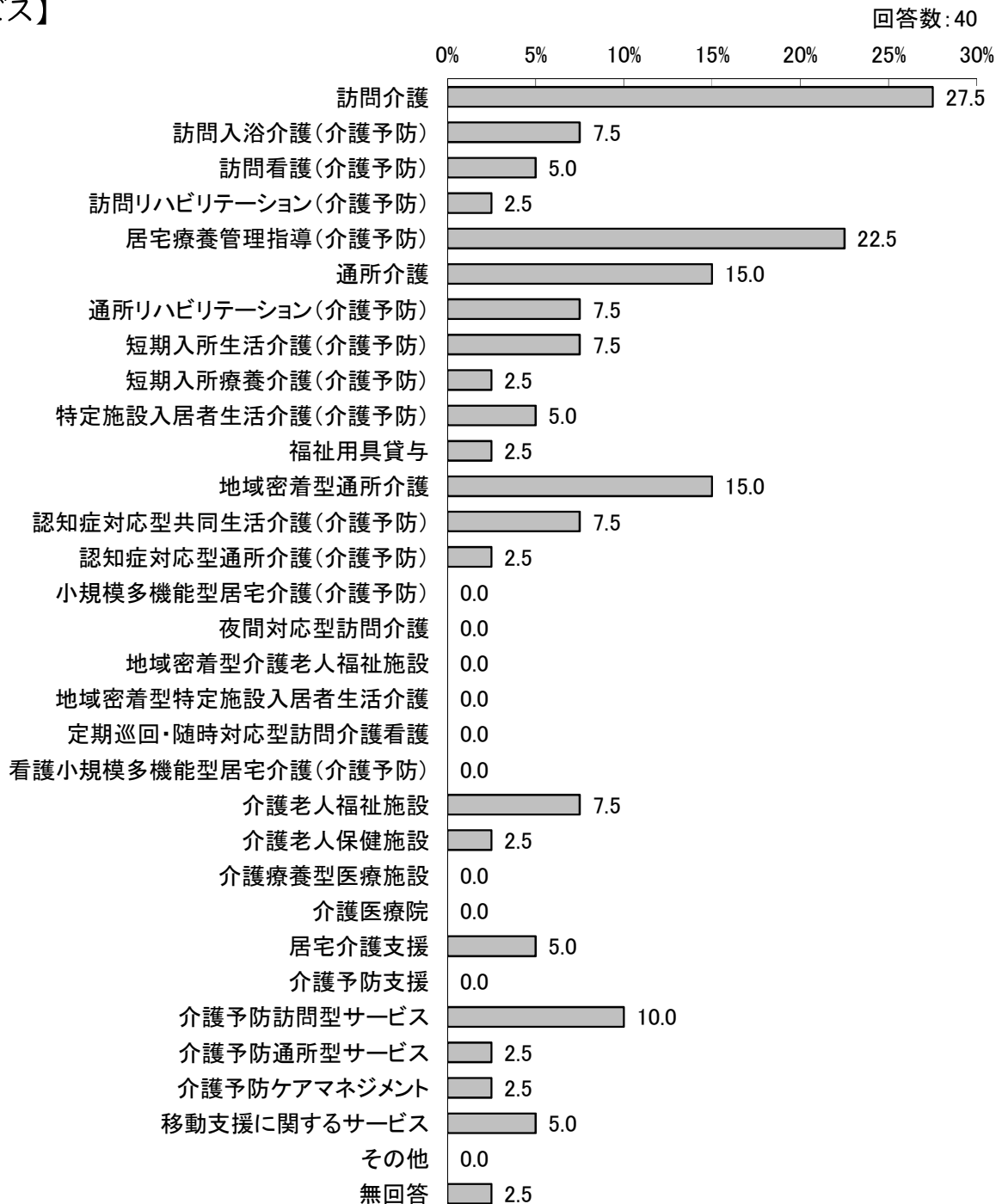
○「マンパワーが不足している」(63 事業所中 40 事業所・63.5%)という回答が6割台で最も多く、次いで「報酬が低すぎる」(30 事業所・47.6%)が多く、なっている。

(6) マンパワーが不足しているサービス・職種

問4-1 (マンパワーが不足している事業者のみ)

不足しているのはどのサービスですか。また、どの職種ですか。(〇はいくつでも)

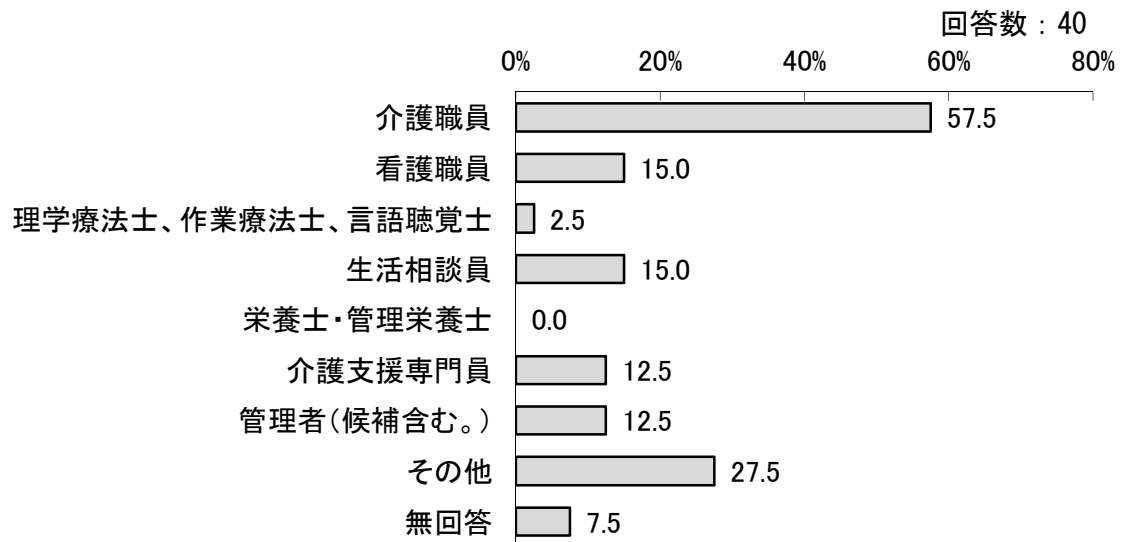
【サービス】



○サービスでは「訪問介護」(40 事業所中 11 事業所・27.5%)という回答が最も多く、次いで「居宅療養管理指導(介護予防)」(9事業所・2.5%)が多くなっている。

職種については、「介護職員」(23 事業所・57.5%)という回答が最も多く、次いで「その他」(11 事業所・7.5%)が多くなっている。

【職種】

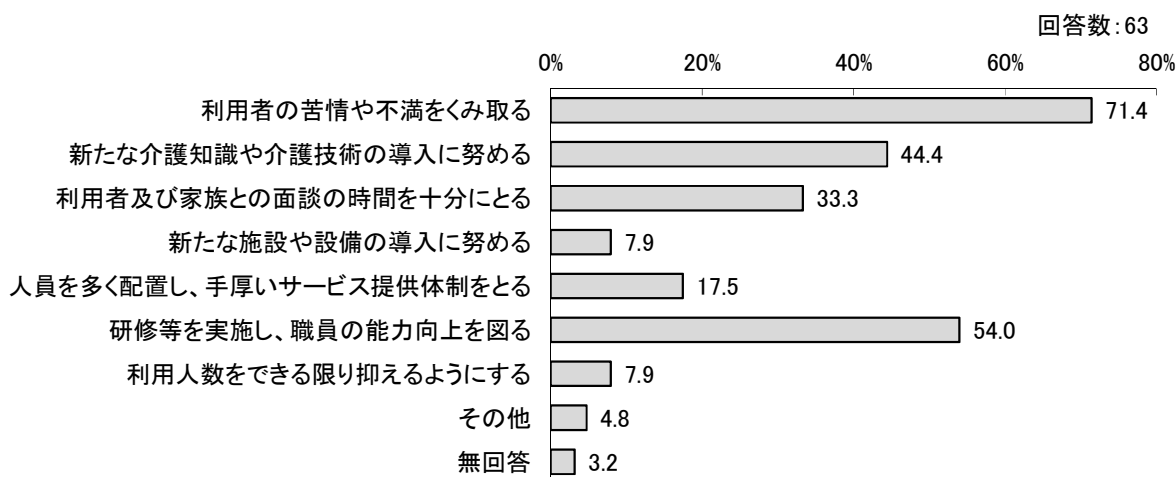


○職種については、「介護職員」(23 事業所・57.5%)という回答が最も多く、次いで「その他」(11 事業所・27.5%)が多くなっている。

3 サービスの質の向上について

(1) サービスの質を高めるために行っていること

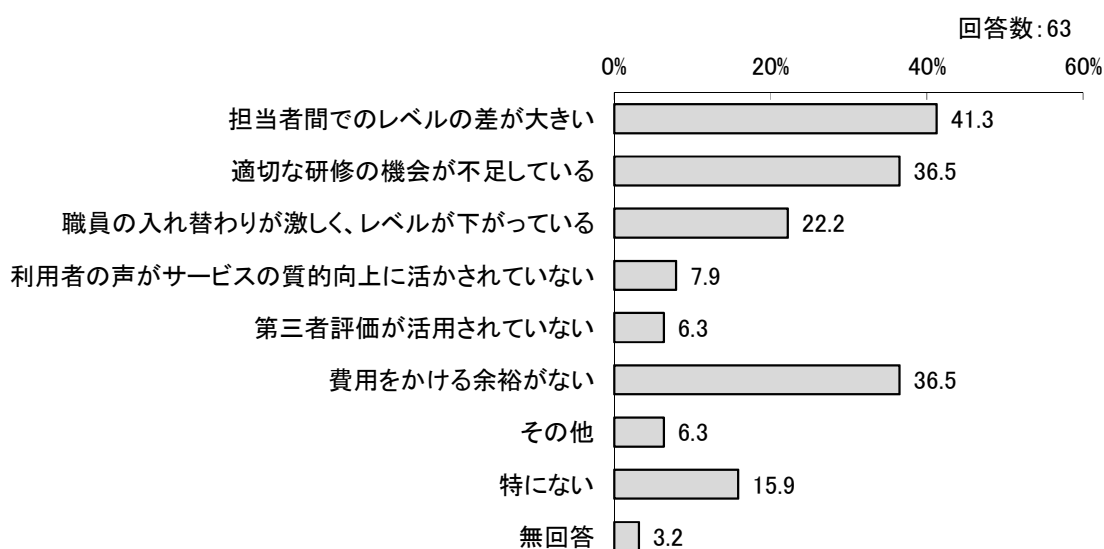
問5 サービスの質を高めるために貴事業者が行っていることはどんなことですか。(〇はいくつでも)



○「利用者の苦情や不満をくみ取る」(63 事業所中 45 事業所・71.4%)という回答が最も多く、次いで「研修等を実施し、職員の能力向上を図る」(34 事業所・54.0%)が多くなっている。

(2) サービスの質的向上を図るうえでの課題

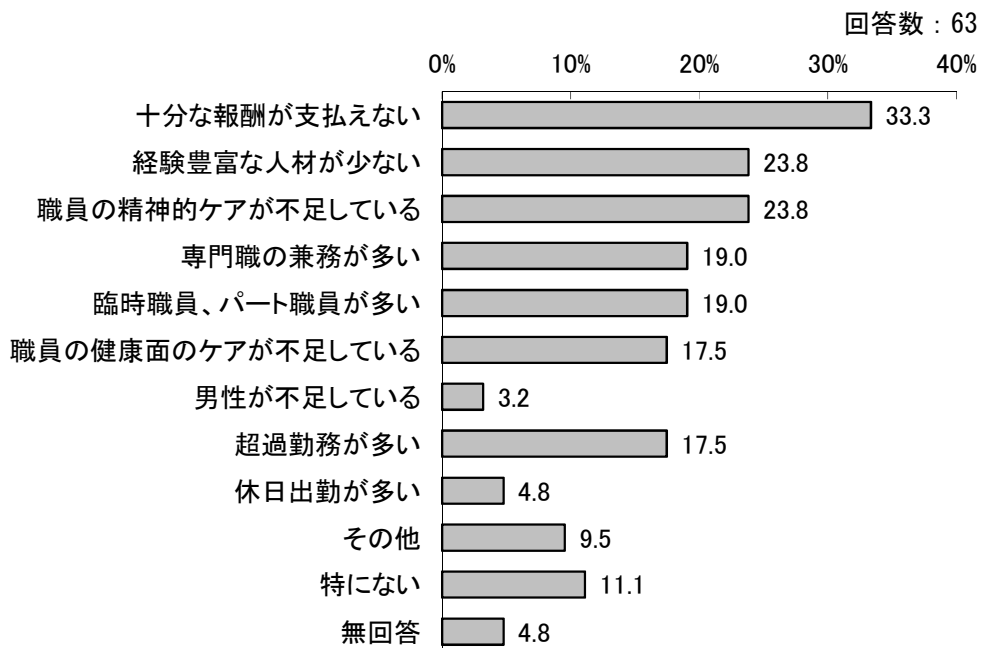
問6 介護知識や介護技術などをレベルアップし、サービスの質的向上を図るうえでの課題は何だと思いますか。(〇はいくつでも)



○「担当者間でのレベルの差が大きい」(63 事業所中 26 事業所・41.3%)という回答が最も多く、次いで「適切な研修の機会が不足している」と「費用をかける余裕がない」(ともに 23 事業所・36.5%)が多くなっている。

(3) 職員の雇用・勤務面での課題

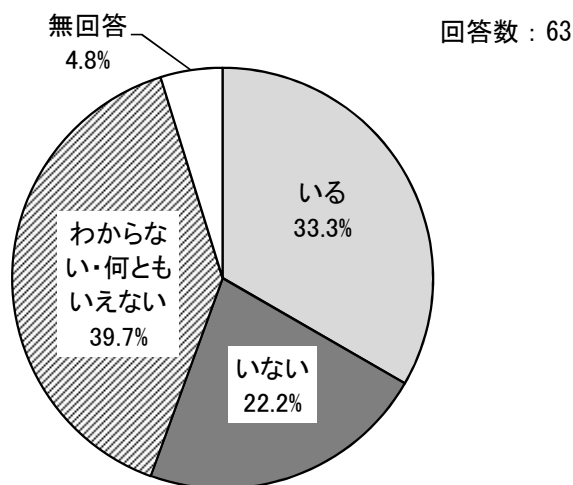
問7 貴事業者における職員の雇用・勤務面での課題は何ですか。(○はいくつでも)



○「十分な報酬が支払えない」(63 事業所中 21 事業所・33.3%)という回答が最も多く、次いで「経験豊富な人材が少ない」と「職員の精神的ケアが不足している」(ともに 15 事業所・23.8%)が多くなっている。

(4) 福祉サービス利用に結びついていない要支援高齢者の有無

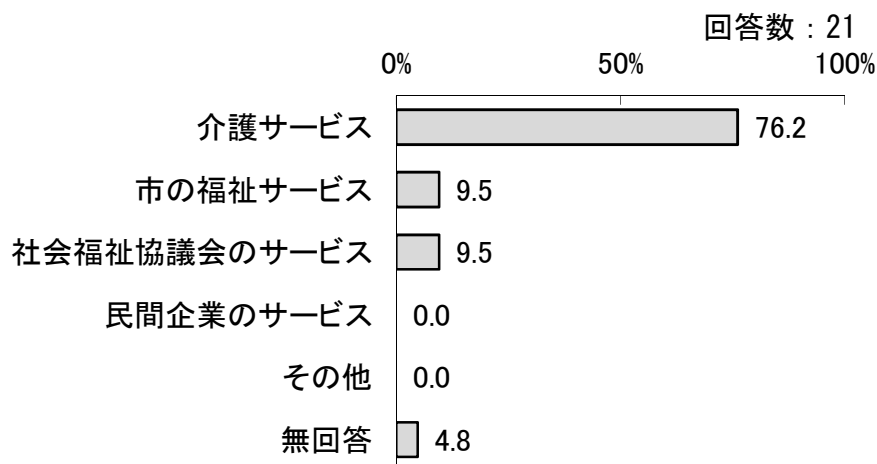
問8 貴事業者がサービスを提供したり利用者から声を聞く中で、支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない高齢者はいますか。



○「わからない・何ともいえない」(63 事業所中 25 事業所・39.7%)という回答がほぼ4割を占めて最も多く、次いで「いる」(21 事業所・33.3%)が多く、「いない」は 14 事業所(22.2%)となっている。

(5) 利用に結びついていないサービスの種類

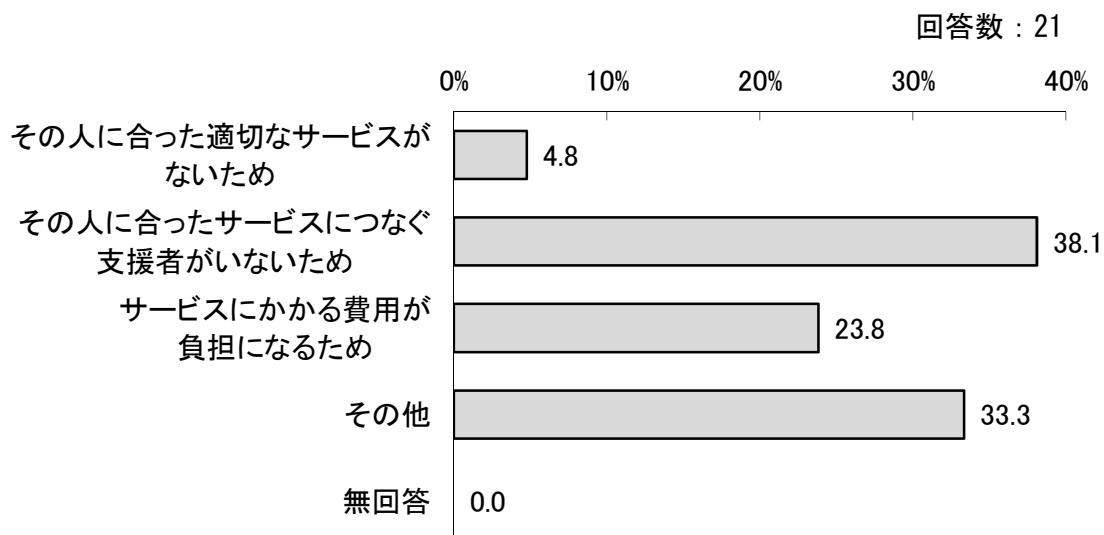
問8-1 (福祉サービスに結びついていない高齢者がいる事業者のみ)
結びついていないサービスは次のうちどれですか。



○該当する 21 事業所の中で、「介護サービス」(16 事業所・76.2%)という回答が最も多く、「市の福祉サービス」と「社会福祉協議会のサービス」(ともに2事業所・9.5%)が続いている。

(6) サービス利用に結びついていない理由

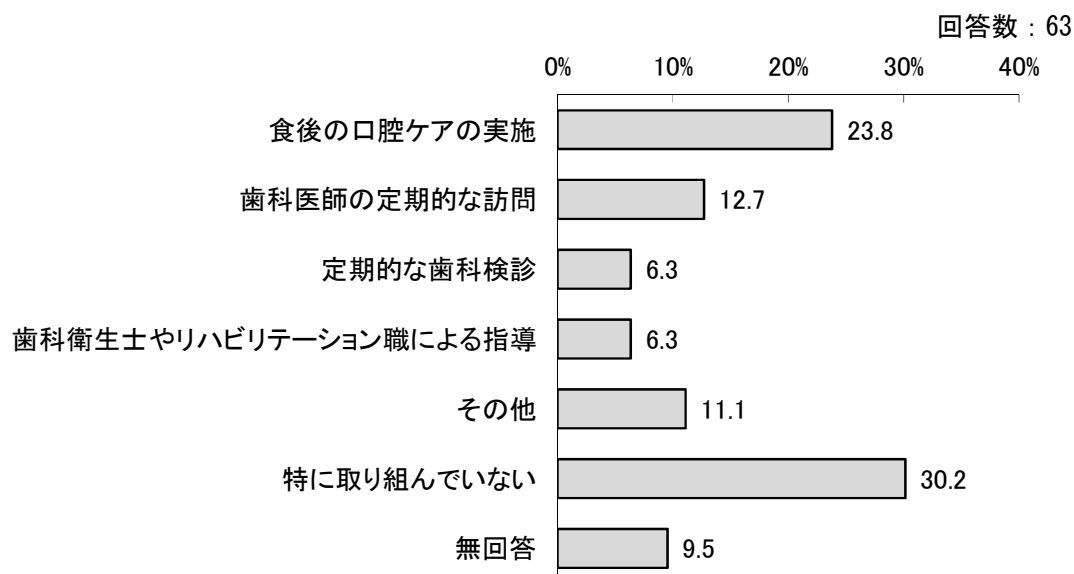
問8-2 (福祉サービスに結びついていない高齢者がいる事業者のみ)
結びついていない理由は次のうちどれですか。



○該当する 21 事業所の中で、「その人に合ったサービスにつなぐ支援者がいないため」(8事業所・38.1%)、「その他」(7事業所・33.3%)が多くなっている。

(7) 歯や口腔の健康づくりについて取り組んでいること

問9 貴事業者は、歯や口腔の健康づくりについて、どのようなことに取り組んでいますか。



○「特に取り組んでいない」(63 事業所中 19 事業所・30.2%)という回答が最も多く、次いで「食後の口腔ケアの実施」(15 事業所・23.8%)が多くなっている。

(8) 利用者からよく聞く意見等

問10 貴事業者では、利用者からどのような声をよく聞きますか。

【記述内容】

- やってほしい所を介護でしてもらえない。例えば、庭の手入れ、換気扇の掃除、エアコンのそうじ等。お礼をしたいのにもらってくれないから気分がわるい、など。
- 「支援1」の方が「週2回通所したい」というのをよく聞く。
- コロナに関する最新情報(施設内における感染状況)をタイムリーに発信してほしい。
- 「もっと増やしてほしい」とのお声。
- おほめいただくことが多いです。とても明るく活気がある、と言われ理学療法士も常勤でリラクゼーション(マッサージ)もあるので、利用者が辞める事が少ないです。
- 利用者からは「楽しい」「ありがとう」の声をいただいています。
- 独居の方はご自身の先々として申請やご自身の年金で生活をやっているのか、ご自身の身体が動けなくなった場合だれにお世話になればいいのか、不安を訴えられている。
- 高齢者は情報収集に困っているようです。特に介護保険を使うべき人が認定を受けていないことが多く、理由を尋ねると「よくわからないから」とのこと。
- 「サービスの向上について、」ご利用者からご指摘などは多くはいただいているので分かりません。ご要望に沿った対応ができるよう努めております。
- 職員の入替が多い。
- 面会が以前と同じように毎日でも施設に来てくれるとよい。
- 施設の食事はあまりおいしくない、という声。
- コロナの関係で換気を行う際、冬場は「寒い」との声をよくお聞きします。
- 薬について気軽に相談できるので、安心して治療を受けられる。

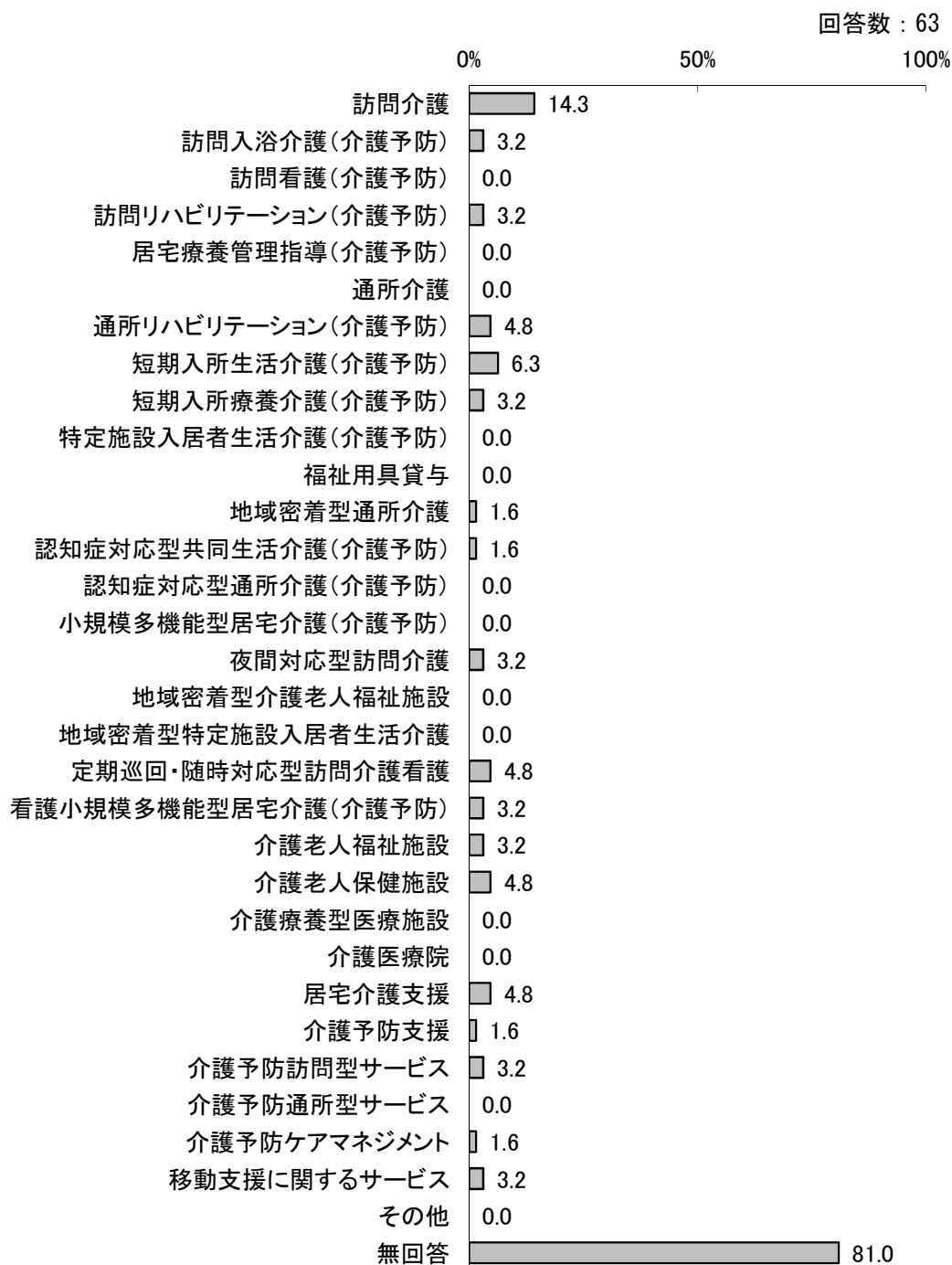
- 「助かっている」と。
- 薬を持ってきてくれると助かる。○一包化し、日付を印字しているため、カレンダー通り飲めて飲み忘れが減った。
 - 薬以外でもいろいろなことを相談できて助かる。
- 非常に助かっている、と聞いております。
- 介護サービスがあつて助かっている、という声をよく聞きます。
- ご利用者様はご自分で散髪に行く事も、ご家族様での対応も難しいことでの声です。「デイサービス利用中に理容師さんがデイサービスに来てくれて、髪を切ってくれたら嬉しい」とのことです。

4 ケアマネジメントについて

(1) 現在不足しているサービス

問 11 ※ケアマネジャーがいる事業者がお答えください。(ケアマネジャーがいない事業者は、問 16 へお進みください。)

現在不足していると感じるサービスは何ですか。(〇はいくつでも)



○「無回答」(63 事業所中 51 事業所・81.0%)を除いて、「訪問介護」(9事業所・14.3%)という回答が最も多く、次いで「短期入所生活介護(介護予防)」(4事業所・6.3%)が多くなっている。

(2) 利用者からよく聞く意見等

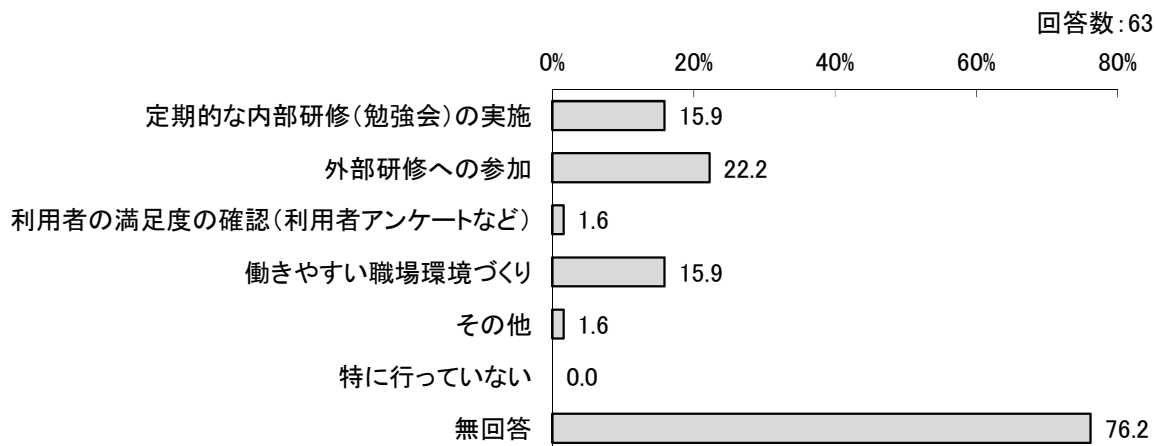
問 11-1 不足と感じている理由は何ですか。

【記述内容】

- 市等から送付される大切な郵便物(例、健康保険者証等)をどこかへ仕舞い込み探しても見つからない。ワクチン接種も申し込みができない。援助が必要。
- ヘルパー不足が大きい。
- 中重度者やターミナル期のご利用者さまを在宅で介護する場合、1日に何回も昼夜問わず支援が必要となるため、夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護(介護予防)のサービスは不可欠だが、圧倒的に事業所が足りず、既存のサービスでは不十分となりやすいから。
- 必要な時に利用できない。
- 事業所がなかなか決まらない。決まっても利用者都合でキャンセルになる。
- マンパワー不足でサービスが受けられないという事業所が多いから。
- 特養に入れないと、ショートステイも多床室が少なく個室ユニット型が多いので、生活支援(生保)の方が多いと探すのに大変な時があります。ヘルパーさんが少ない様に思います。
- 介護サービスがあって助かっている、という声をよく聞きます。

(3) ケアマネジャーの質を高めるために行っていること

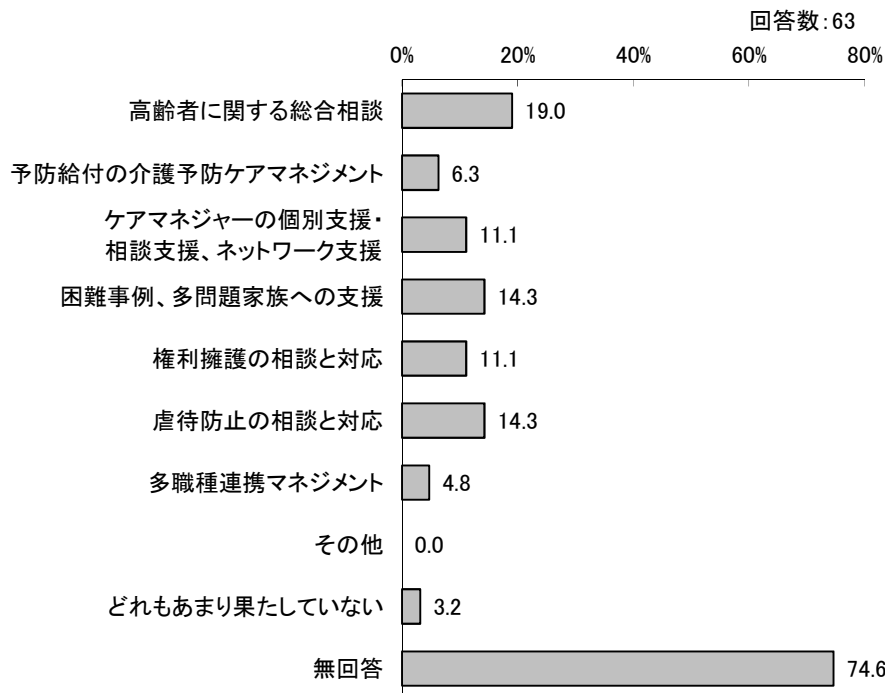
問 12 ケアマネジャーの質を高めるために行っていることは、どんなことですか。(○はいくつでも)



- 「無回答」(63事業所中48事業所・76.2%)を除いて「外部研修への参加」(14事業所・22.2%)という回答が最も多く、次いで「定期的な内部研修(勉強会)の実施」と「働きやすい職場環境づくり」(ともに10事業所・15.9%)が多くなっている。

(4) 高齢者相談センターが果たしている役割

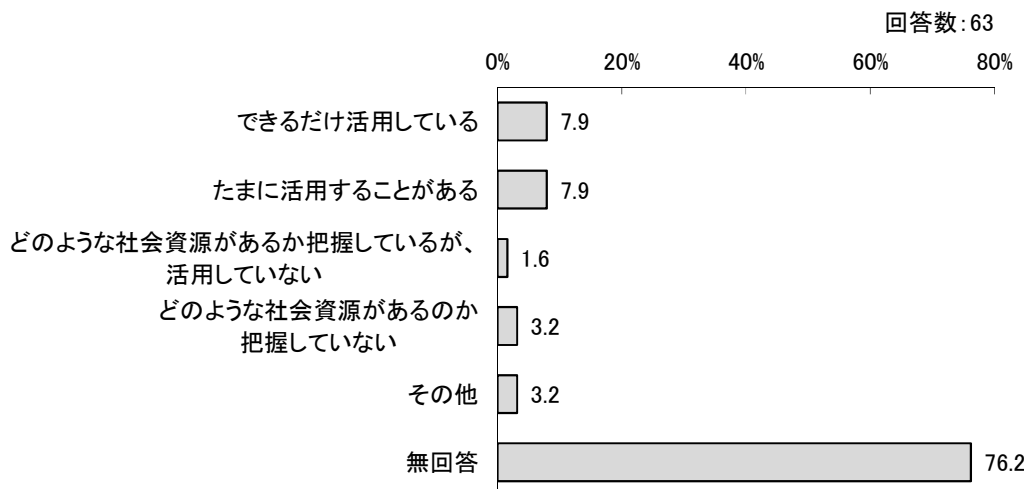
問 13 高齢者相談センター（地域包括支援センター）は、次のような役割を十分に果たしていると思いますか。果たしていると考えるものを選んでください。（〇はいくつでも）



○「無回答」（63 事業所中 47 事業所・74.6%）を除いて「高齢者に関する総合相談」（12 事業所・19.0%）という回答が最も多く、「困難事例、多問題家族への支援」と「虐待防止の相談と対応」（ともに9事業所・14.3%）が続いている。

(5) インフォーマルなサービスの活用の状況

問 14 ケアプランを作成する際に、インフォーマルなサービスを活用して立っていますか。



○「無回答」（63 事業所中 48 事業所・76.2%）を除き、「できるだけ活用している」と「たまに活用することがある」（ともに5事業所・7.9%）という回答が最も多くなっている。

(6) 活用した／しているインフォーマルサービス

問 14-1 (インフォーマルサービスを活用した、またはしている方のみ)

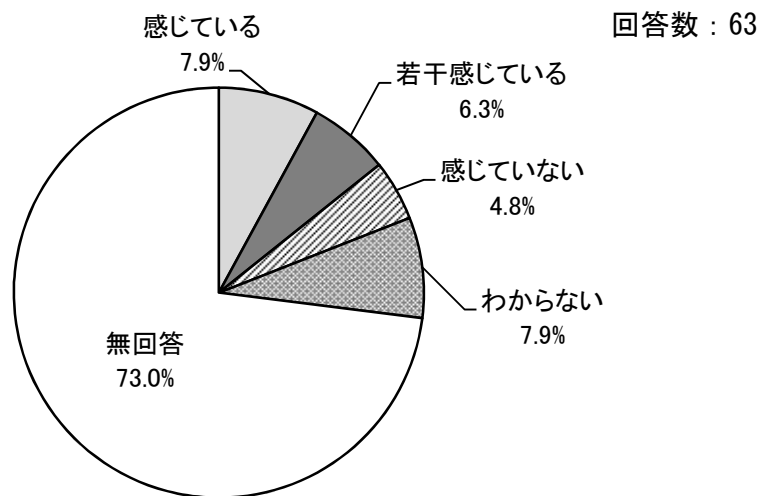
活用した／しているのはどのようなインフォーマルサービスですか。【自由記入式;具体的に記入。】

【記述内容】

- 福祉車両の利用、配食サービス、有料ヘルパー
- 配食サービス、訪問介護サービスのプライベートケア
- 緊急通報システム、オムツ給付、笑学校 等
- 配食サービス、福祉タクシー、有償ボランティア
- 訪問看護
- 配食サービス、移動支援サービス
- 地域の体操、つどい場(包括)地域のつどいの場を提供
- 地域の清掃ボランティアなど
- 配食サービス(安否確認)、緊急通報装置、ゴミ出し、訪問マッサージ、介護用品(オムツ)、高齢者タクシー券の高齢者支援の手続きを行っています。

(7) ケアマネジャーの対応の差

問 15 他事業者のケアマネジャーについて、ケアマネジャーの対応に差があると感じていますか。

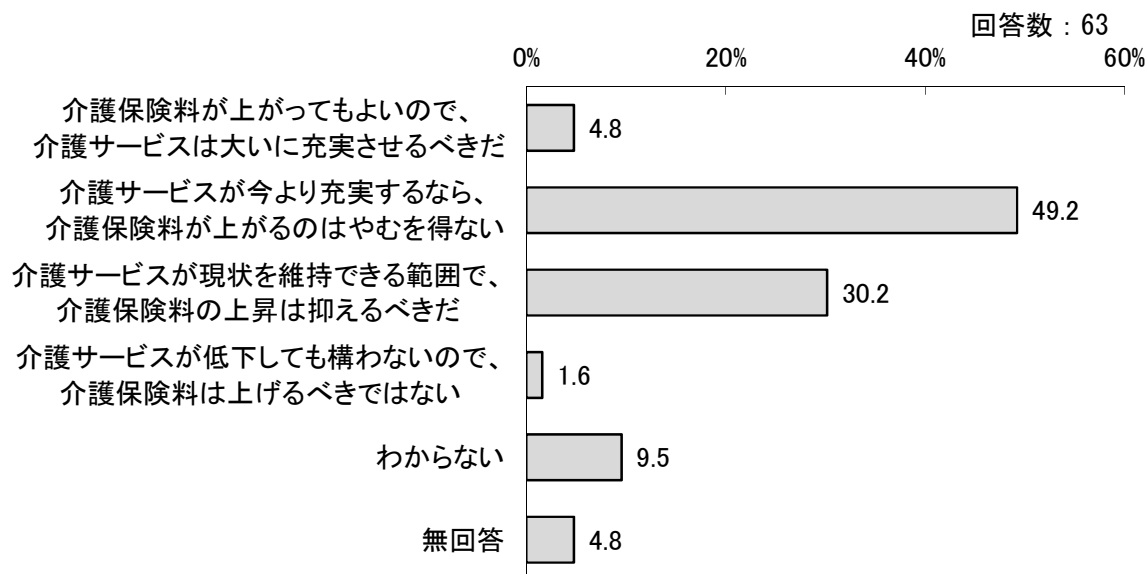


- 「無回答」(63 事業所中 46 事業所・73.0%) が最も多いが、それ以外では「感じている」と「わからない」が5事業所・7.9%、「若干感じている」が4事業所・6.3%、「感じていない」が3事業所・4.8%となっている。「感じている」と「若干感じている」を合わせた“一定程度以上感じている”は9事業所・14.2%となっている。

5 今後の高齢者介護について

(1) 介護サービスの維持・充実と介護保険料とのバランスについて

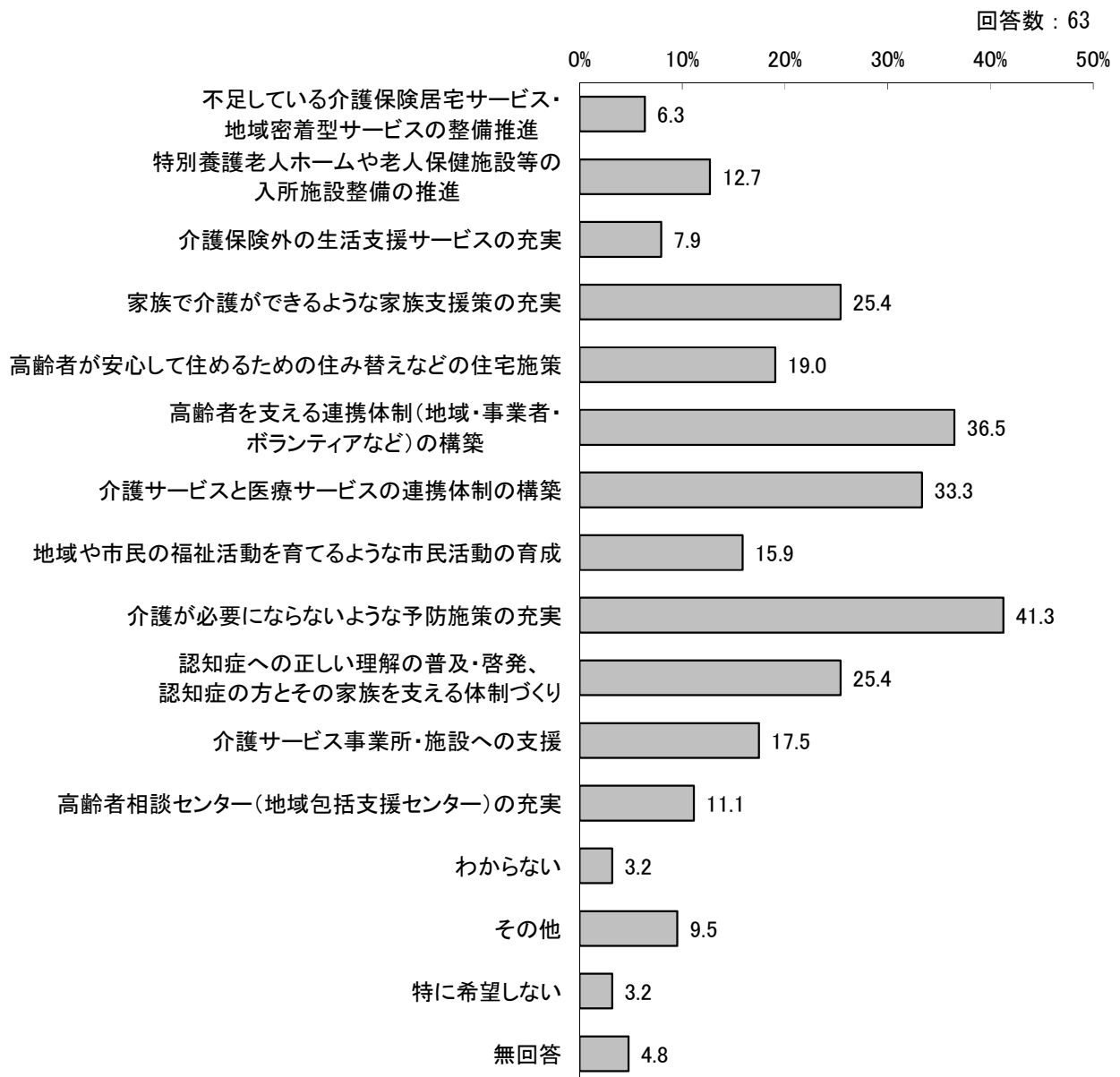
問 16 介護保険は急速に利用が増え、現状のまま伸びていくと、将来の介護保険料は現在よりもかなり高額になることが予測されます。介護サービスの維持・充実と介護保険料とのバランスについて、どう考えますか。



○「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」(63 事業所中 31 事業所・49.2%)という回答が最も多く、次いで「介護サービスが現状を維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」(19 事業所・30.2%)が多くなっている。

(2) 介護サービスの充実のため行政に希望すること

問 17 高齢者への介護サービスの充実のため、行政にどのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)



○「介護が必要にならないような予防施策の充実」(63 事業所中 26 事業所・41.3%)という回答が最も多く、次いで「高齢者を支える連携体制(地域・事業者・ボランティアなど)の構築」(23 事業所・36.5%)が多く、「介護サービスと医療サービスの連携体制の構築」(21 事業所・33.3%)が続いている。

(3) 自治体に求める支援

問 18 貴事業者は、自治体にどのような支援をしてほしいですか。

【記述内容】(属性:事業所種別)

- 有料老人ホームなので、行政の支援(経済的支援等)は得られないことは理解しております。ただ、公的サービス(介護保険施設)を補完する市民の一つの選択肢という面からの啓発もしていただけると有難いです。(特定施設入居者生活介護(介護予防))
- ①ローカルルール統一:通所のサービス提供時間が異なる。千葉県+15分、東京都(大阪、名古屋)+10分、バツファをなくして頂きたい。②通所の管理者の業務の制限をなくしてほしい(介護職員の兼務ができない自治体がある)。③通所の生活相談員の資格要件:実務経験で資格有すると見做す。(例 東京都 神奈川県)(通所介護)
- 高齢者夫婦、特に共に慢性疾患を有する場合や障害児、障害者に対する支援の重要性、サポートの大変さ等をもっと把握すべきでは!(移動支援に関するサービス)
- 支援というよりは介護報酬を引き上げてほしい。在宅業務にかかる手間が大きい、報酬が少ないと思う。(居宅療養管理指導(介護予防))
- 多事業所間の情報共有の機会の増加。(居宅療養管理指導(介護予防))
- 過去2度、支援金を交付していただきました。今後も継続的にあると嬉しく思います。(地域密着型通所介護)
- 「半日デイ」ですが、点数をもう少し上げて欲しい。新規事業を始める際のハードルを下げてほしい(特にこちらは、広域で各自自治体により考え方が違うことが困る)。(通所リハビリテーション(介護予防))

(4) 介護保険についての日頃からの考え

◎ 最後に、介護保険制度や介護保険サービスについて、日頃からお考えのこと等をご自由にお書きください。

【記述内容】(属性:事業所種別)

- 介護保険証の適用期間に認定有効期間がズレているため事務手続きが増えるので、改善していただきたい。(居宅療養管理指導(介護予防))
- 介護予防の充実が、現在抱えている介護保険サービス上の課題解決の一助になる、との思いで従事させていただいております。(地域密着型通所介護)
- 習志野市はよくやっていると思います。(居宅療養管理指導(介護予防))
- 2024年度からの報酬減や支給単位数減など今後の経営には不安の種が付き、要介護1、2の切り離しや原則2割負担など、その悩みは尽きません。安定してデイサービスを運営していきたい、その一心です。(地域密着型通所介護)
- セーフティネットの充実。(訪問介護/福祉用具貸与/地域密着型通所介護)
- 習志野市様は、他市町村に比べ、介護サービス事業者に対して手厚いご支援をして下さっています。現状のまま、変わらぬご支援、ご指導いただければ幸いです。(地域密着型通所介護)
- 「総合事業」は事業所として利幅が少ないので、人手不足も相まって撤退する所が増えると思う。(訪問介護/居宅介護支援)
- 医師、看護師、その他の医療従事者の方々、ケアマネジャー、ヘルパーなど介護事業者の方々ともっと連携を取り、薬局・薬剤師に対する要望などをしっかりうかがいたい。薬の配薬などを含め、もっとこうしてほしいなど意見があれば伝えてほしい。(居宅療養管理指導(介護予防))

- 医療の立場からになります、元気な方々は多くいますが、そうでない人達にどのように楽しく暮らしてもらうか、口の中で云えば、当たり前のように箸を使い咀嚼を行っておりますが、それすら行えない方々が多くいらっしゃいます。「食べる支援」もとても大切であり、それに真剣に取り組んでいる方がどのくらいいるか、今後の課題となるでしょう。(移動支援に関するサービス)
- 認知症の人やその家族を支えていくためには、地域の人達に認知症を正しく理解してもらう事が大切です。今後も介護サービスや活動を通じて認知症への正しい理解の普及、啓発に取り組んでいきたいと考えております。(地域密着型通所介護)
- 利用者様は、介護保険制度の利用を難しく感じている方が多く感じられます。特に事業者、利用者との契約や手続等が多過ぎ、お互いに負担が多いと思われまます。(訪問介護)
- 介護保険サービスを利用し、自宅でその方ができるだけ過ごしていただけるように、と考えています。有料の施設等は費用が高いため、と話される方が多いです。独居で生保の方も、将来介護保険制度の事も考えてしまいます。家族が行う入院の用意、病院通院の付き添いも介護保険でできる事も、自費でできることもあるが、ケアマネの仕事となる方もいます。できることできないことがあり、わからない方もおり大変な時もあります。(居宅介護支援)
- 今後、介護保険料の値上げにより、質の高い事業所しか生き残れないと考えております。しかし、最近使用者様による無理難題を言われるハラスメントがあり対応に困りました。当事業所は撤退しましたが、がまんしている事業所もあるため、ハラスメント対策は相談にのっていただいたり利用者側にも啓蒙してほしいです。(訪問看護(介護予防))
- 専門用語が多く、請求も複雑。もう少しシンプルにできないか。(特定施設入居者生活介護(介護予防))
- 国の決まりで仕方ないことだが、この物価高で経費は増え処遇改善で人件費も少しずつ上がるのに、報酬は少しずつ下がっています。利益が出せず、会社が倒産していきます。人材確保しサービスを充実させ、この先の高齢化社会に対応していく為には、報酬を上げていただかないとこれ以上どうしようもありません。助成金や補助金には本当に感謝しています。(訪問看護(介護予防))
- 本当にサービスが必要な人が受けられないで必要ない人がサービスを受けている部分がある。(通所介護/地域密着型通所介護)
- ハラスメント(カスタマーハラスメント)に対する利用者と事業者を共に支援できる機関が今後必要なのではないかと考えます。(訪問入浴介護(介護予防)/通所介護/居宅介護支援)